から歩兵戦

團長督戰 植田前原兩

0

事場附近に影響も破魔客下とた之 で人び整領事館方面に向って破緊 で人で整領事館方面に向って破緊 が人び整領事館方面に向って破緊 で人が表演形式の外回車艦祭

頭强に抵抗

二 支那軍

の死傷

Œ

態度が膨く諸外國の誤解する所と等のため第十九路軍の暴展極まる

第上海二十二日登)☆微鏡の戦況にあった、前原○駅山会部は全郷九時にあった、前原○駅山会部は鐵道にあった、前原○駅山会部は鐵道にあった。前原○駅山会部は鐵道の影響の場合部は電流の養暖の戦況

各方面戰況

**職所を総つ、管験中である** 

砲煙下に進車督勵

に移動さるゝもの、如くである 南京城内の支那軍隊の下間に移動 南京城内の支那軍隊の下間に移動

電上海二十三日登り 江西等車場所 が生時間が繋するので野殿軍研除は す我を頻繁するので野殿軍研除は

上海出動

南京支兵二

と確認に抵抗しつくある

中な下らの標識に後送さ 十名以上外に後送さ 十名以上外に後送さ

敵の本部潰滅

野砲、山砲の

打ち

い我陸軍

保敵の榕麻庫に命中木ツ増都敷: に耳り敵の飛行機嫌地たる虹線飛に耳り敵の飛行機嫌地たる虹線飛

【上海二十三日登】小野○脚へ朝○圏本部を○○○より備へ朝○圏本部を○○○より備

大膽な我空軍

前進な整飾してゐる

規兵多數參加

蔡廷楷全軍を指揮

電上海二十三日登」昨日江電大郎 の歌師の効果は並さして我飛行機 の歌師の効果は並さして我飛行機 で横の活動は目巻ましく維験物店 を軽した際にも離上 し等の参種の妙技に大際にも離上 し等の参種の妙技に大阪にも離上 し等の参種の妙技に大阪にも離上 し等の参種の対策に大阪にも しゅうだい しゅうしゅう しゅうしゅう

具神出地域の医療の医療のというでは、 「上海二十三日登」にでは、 ででは、中に、 ででは、中に、 ででは、ないでは、 ででは、 ででは、

〇隊長松山大尉、豐島

新紀元を割

VZ

柴田二等兵曹

二十二日の空中戦

我死傷者氏名

東京二十三日数』某所着電、常

敵軍二回

逆

载

はツャシイフ

一時代から瀬陽午前中 聯盟特

## 政府代表出發 から液解午前中の重要案代

Q S

心會に

総選舉で政府の際館館大勝利の報

租界使用抗議に

村井總領事反駁回答

最新刊

定價五十錢

安部磯

選舉結果注目

るご観て非然な注意な嫌つてゐるに関し祭園職監代表は日本政局の

た大養首根は三時二

十分参内御裁可を得た

# 本祖龄

## 心異例承 我政府回答を發す

粉野の其酢的機能か遂げ、總會に とする一般試験が脱びの其酢的機能が必要しまり谷一名の参議な脱て政治委員會が日支

れるこさになるか

200

政友會は三百三

社會主義の父・人類愛の戰士が語る

全半生の苦鬪史!

民政黨百四十六

支那側の

要求決定

外交委員會で

さ はればなられるの意見を有し或れるとして不嫌ながばにつき考慮して、 みた繰り返して何等はすか得ない。 さすると職職そのものな困難な立。 はらに、 はいれるので在かたよくする

界: 手がしたこのでは、 本にいる過程を、米、側、所領事に 本にいる過程を、米、側、所領事に 本にいる過程を、米、側、所領事に がなりる場合で を関する。 を関する。 を関する。 を関する。 を関する。 を関する。 を関する。 をできる。 をでをできる。 をできる。 をでをできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をでをでをでをでをでをでをでをでをでをでをでをでをでをでをで

は光づ日支融國代表を注役にからて、一十二日後』三月三

路り招請されん

十六條適用要求

聯盟側取扱ひに苦心

は、ふべきやにつき苦心してゐる模様。

である、多くの時

電は昨夜の緊急會議にて就認識會 にて日本に野し規約第十六條の総 にて日本に野し規約第十六條の総 を記した

年現在に於て ・ 中現在に於て ・ 中現在に於て ・ 中現在に於て ・ 中現在に於て ・ 中現在に於て ・ 中現在に於て ・ 中現在に於て

歌の網報に 営選者訂正

苦闘史であり、一面又我、社會文化の變遷を語る文化史である。 古ものされた本書は、言々句々側々として胸をうつ氏の前半生の てものされた本書は、言々句々側々として胸をうつ氏の前半生の 又教育文化の貢献者として荆棘の路を經て來た氏が自ら筆をとつ 文に向つてしみたへと語ったそった。へ書の一一と、安部さん 変に向ってしみたへと語ったそった。へ書の一一と、安部さん のはは縣廳の給化にでも出したらどうだ』と祖父は臨終の間際に

平立 一〇 華新 二

正二十三日附本紙師録「影響院議員」「覧表」の中熊本縣一區並に労嫌

熊本縣

利彦傳明利養者沒一品。西郷南洲先生傳

ま柳

山路駅山著で、〇〇

か石の思ひ出 極岡 熊蜂

村田虎之助政前

郷用する際は總會全部の行

物質より發表されたが、ボンクール議長に黙する外根回答要旨左のに黙しポンクール議長に手交する機能電し同時に繋明は午後七時外閣議で決定、光潔外根は午後五時夢內陸市の御銭下た傾き佐藤代表、東京二十三日餐 歌歌の對日アツピールに對する回答は二十三日

る所なり然じ 本申入れは不必要の方面になされた嫌あり養し現下武力的抗争を中止する途は一に支那場 導者の手中にあり 日本は対争を でる事を遺憾とす、右は聯盟の精神に反しそれる事員會討議を以て せんとする慣行の生れたる事を遺憾とす、右は聯盟の精神に反しその動機善良にして事業 困難なるも 斯る異例 が頻繁に行はる、事は聯盟手續に合 致せざるものとしてこれを承認し難く一般世上に新る計算を理事會の行動と混同せん事を恐る、何れにするとなった。

帝國政府の評解し得ざるところなり攻撃とつゝ 2 はせしめ得べきとの 寓意を含むものにしてさへすれば上海の危急なる事態を 直ちに終い十二ケ國理事の 申入れは 恰も日本が隱忍

六、帝國政府は一切り間には、一旦たる支那領土保全叉は獨立を侵害をしたとするものにあらずこの機會に帝國政府は再び支配制せんとするものにあらずこの機會に帝國政府は再び支配のとするものにあらずこの機會に帝國政府は再び支配のとするものにあらずこの機會に帝國政府は一切り間には、

何等統制ある政府なく亦全支に對し完全なる支配を主張し得る権七、日本は支那な組織ある國家さ思考せず支那の內政は平池さして諸するさ同時に他國も日本に正義覧客を示さるれば欣幸なり、帝國政府は一切の國に對し正義寬客を示す義務ある事は之を受

べからす帝國は關係範國に於て曾越軍と一つののである。 ない とう はい れを 真に有 盆且つ實 味的ならしめんとせばれを 真に 對して爲 さるべき ものにして斯る申入軍に對して爲 さるべき ものにして斯る申入下、該申入れは寧ろ攻撃を加へつゝ ある 支那 上海在

する野職盟がに列國に對す

土海に於ける英國の政策は次の

支那に於ける自國の

權益の擁護に努力

盟<sup>®</sup>午前十時 中前十時 音 東壁職大さ共に職闘の空氣が極度 に変化したのを利用して支那側は に変化したのを利用して支那側は に変化したのを利用して支那側は が第十六條の誹謗地定を要求するかも知れのと懸念されてゐるな は、

央政府の政策を闡明 別かにして來た問かにして來た 三、英政府は支那に於ける自國の機能擁護のため特に努力して來 た 四、英國は他國家に對するポイコットを奇貨さして自國貿易の進展を計らんごするものではない ランズペリー氏は某國が日本と ランスペリー氏は基國が日本と

留婦女子に

英外務省發表

引揚不要

支那調查員

參與委員

吉田大使任命

民團總領事館で

電社留英人の引揚げは不必要な で選組させる準備がある、今の に選組させる準備がある、今の に選組させる準備がある、今の に選組させる準備がある、今の に選組させる準備がある。今の

年齢女子の外後の外後

が競務者、繁架中以外の全屋衛民に難し内地引機命令を殺した。これとが競務者、繁架中以外の全屋衛民に難したなずに決した。また居留した御邦人婦女子に難し正式の引きげ観告をなずに決した。また居留した事二十三日後

最近便能を當てることになった

十九日陸軍の總攻撃さ共に二個十九日陸軍の總攻撃さ共に二個中陸にくついいて月の家ガーデンまで行つたが、ビュッ/くさ元まで行ったが、ビュッ/くさ元が第二十十九日陸軍は物凄いですめられ流石に該軍は物凄いですよ敵もさるもとでは物凄がですよ敵もさるもとでは物凄いですよ敵もさるもとでは対しないでは、何分野地、ビスののでは、何分野地、ビスののの地が、ビスのの地が、ビスのの地が、ビスのの地が、ビスのいが、ビスのいが、 でハッキリ聞えてゐましたよ が用意なんて士官の壁が本船ま 帰上砲撃なしてゐました、射ち マニラを終て今朝長崎に入港の熱 の 田丸にて送還されて來た、柴田二 等兵暫は大元氣で

一 被仰附聯盟支那調査委員参與委員 (任命決定した 特命全権大使 吉田伊三郎 特命全権大使 吉田伊三郎

全體會議出席

| 北平二十二日費|| 議科、李女範|

聖家戦があるながなながある巧妙な好るでは一般で満州とは作般が異ってもない度い で、 に満州回復の兵を歴せさ替従電館 し、同時に南京で繁業部長駅公康 に満州回復の兵を歴せさ替従電館 に満州回復の兵を歴せさ替従電館 では國民政府は近く満州獨立政府訪 では国民政府は近く満州獨立政府訪 見て洛陽の中央全體會議出席に決 督促 學良に擧兵を

白系軍我領土

人民委員會に左の賞記書か後する を窺ふ 赤衛軍の宣言

發行所

東京市芝區愛宕下町

番

芝電(3)話

改

造

ざる間山脈第二區を政友四民政一と計算し再投票のため窓選喩定せ · 八九四四安 達 謙 滅民前 第一區(熊本、瀬北、阿蘇) 二八七五木村正義政新 二二〇五七

茨城縣

二四六六三內田信 也政前 第一區(鹿島、行方、稻敷、北) 10一八九豐田豐吉 五一七七葉梨新五郎政新

志賀直哉著 各册選

志賀直哉著探 志賀直哉著 志賀直哉著 擇自由 夫走島

二層五十錢

眞理の探求に徹せる轉向期の大作家

我が藤森成吉の名は、萎微沈滯の文壇に於ける、獨自の巨擘的氣我が藤森成吉の名は、萎微沈滯の足跡は、自由と必然とを求めて大きな作風は、よく新興、學の行途を暗示さるであらう。 として、遠く海外に健闘すると聞くが、その真摯なろ態度と卓越として、遠く海外に健闘すると聞くが、その真摯なろ態度と卓越として、遠く海外に健闘すると聞くが、その真摯なろ態を表めて大きなが、なが藤森成吉の名は、萎微沈滯の文壇に於ける、獨自の巨擘的氣我が藤森成吉の名は、萎微沈滯の文壇に於ける、獨自の巨擘的氣

監設督計

中中

横井建築事務所

野井

なは極東の白系軍は〇國の支持 計議するものあり、彼等は白系 計議するものあり、彼等は白系 網目領征(祭順石版 **吉成製版所** 



七

英米代表の軍縮會議乘込み  日

=

自「滿獸民族獨立」 家民族震立」「素説新國

各國軍縮案の 審議や開始

感よ二十五日から

首都の新市街は

二年後には完成豫定

分見合せ

李花屯に建設

会議する家屋については壁機の短した。 を物質の定した、正して同様 を物質の定した、正して同様 をがは三院七部その他執称に充・中要被、独立配便要校の十三家屋 を物質の定した、正して同様 をがは三院七部その他執称に充・中要被、独立配便要校の十三家屋 を物質の定した、正して同様 をがは三院七部その他執称に充・中要被、独立配便要校の十三家屋 を物質の定した、正して同様 は世三日もヤマトホテル を物質の定した、正して同様 は世三日もヤマトホテル を物質の定した、正して同様 は世三日に開かれた流緩戦満裂内所 にて及程線及超波性氏は密長官な 世二日に開かれた流緩戦満裂内所 は一日に開かれた流緩戦満裂内所 をが、道際銀行、交通銀行、然口節 長は廿三日齢長の変定であるが、 で源解正午鮮事に設合した、全師 なが、道際銀行、交通銀行、然口節 長は廿三日・マトホテル の食諺では先づ銀道部整架駅立か は一日に開かれた流緩戦満裂内所 は一日に開かれた流緩戦満裂内所 は一日に開かれた流緩戦満裂内所 は一日に関かれた流緩戦満裂内所 は一日に関かれた流緩戦満裂内所 は一日に関かれた流緩戦満裂内所 は一日に関かれた流緩戦満裂内所 は一日に関かれた流緩戦流裂内所 は一日に関かれた流緩戦流裂内所 は一日に関かれた流緩戦流裂内所 は一日に関かれた流緩戦流裂内所 は一日に関かれた流緩戦流裂内所 は一日に関かれた流緩戦流裂内所 は一日に関かれた流緩戦流裂内所 は一日に関かれた流緩戦流裂内所 は一日に関かれた流緩戦流裂内所 は一日に関かれた流緩戦流気内所 は一日に関かれた流緩戦流裂内所 は一日に関かれた流緩戦流裂内所 は一日に関かれた流緩戦流裂内所 は一日に関かれた流緩戦流裂内所 は一日に関かれた流緩戦流裂内所 は一日に関かれた流緩戦流裂内所 は一日に関かれた流緩戦流裂内所 は一日に関かれた流緩戦流裂内所 は一日に関かれた流緩戦流裂内 は一日に関かれた流緩戦流裂内 は一日に関かれた流緩戦流裂内 は一日に関かれた流緩、 は一日に関かれた流緩戦流裂内 は一日に関かれた流緩、 は一日に関がれた。 は一日に関かれたが は一日に関かれた流緩、 は一日に関がれた。 は一日に関かれた流緩、 は一日に関かれた。 は一日に関がれた。 は一日に関かれた。 は一日に関かれた。 は一日に関かれた。 は一日に関がれた。 は一日に関がれた。 は一日に関かれた。 は一日に関かれた。 は一日に関がれた。 は一日に、 は一日に、

鮮滿案內所主任會 

東北新政權討伐令

馮玉祥から發布要

で、いはない ◆突然、歌風渦巻いて南 を支ます 〈 売れる、我防衛隊の取 ちは職、全浦家に撮る趣画デモの で、いさ駅か ▲ 南家自由画家の で、いき歌の山」

麻炎續落

共に前京の蔣介石に解へた討伐令教布は発れざるこころと見られてゐる教布の好機會なりさし速かにこれが黄布方を要議した。よつて汪標衛はその旨洛陽政府に傳達すると教布の好機會なりさし速かにこれが黄布方を要議した。よつて汪標衛はその旨洛陽政府に傳達すると表に前京の蔣房は中國軍が大戦し東北張立政権討伐会

満蒙新國家の

政體と私見

**論者或は共和政性な** 

漢字紙醒時報所論

画演二族人民もがな

て今日の危局を現出せり、四の蘇戦脈政艦に劣らず、四

芸芸芸

田

辺病院

大,000

科

性病

4 名職を新中立記其和國さ名づくる人に俟ちて決せらるべく以新國家の

康王・宇望・韓正 社会計時ドー おフイナ 西瑪

一二二章 **阪** 二二三一章 後場寄 期 九三六〇 米 仕眠當り仕館 

生前辱知諸君に謹告

11月二十三日 候が死去致候間此段生前原知諸彦海彦儀豫で病氣の處本日午前 野內會 の國號は

(版內市)

日できば、世人の多く 干渉の有無 理由は明白

(=)

献

說

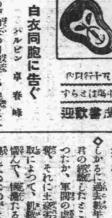
政友會の大

勝利



が機つして機を起されたいはゆ を、これまでの軍閥、土匪、土 を、これまでの軍閥、土匪、土 を、これまでの軍閥、土匪、土 を、これまでの軍閥、土匪、土

內地當市共



のさきに際して、この新りしい。 を さってい、 数年本生活版がよう。 を さって、 数年本生活版がよう。 を さって、 数年本生活版がよう。 と である、 りれ等ない。 できょう。

大連市昭和七年度談入戦出課算の

市參事

◆りが的弦の同胞窓よ、地球は人 類共同生活の舞歌にして、人類 がた民の養育してあるのだ で、この地球上に、天の奥へた生 活機が平等に築有してあるのだ で、この地球上に、天の奥へた生 である満洲の天地は、もこ/ へ ◆同胞たちよ、もか はなかつたか。 してるむのがそ してるむのがそ で、他概だる

る為め調査部を新設: 海狀況を調査通報に入るさ共に内地商期すべく、本社は廣告は期すべく、本社は廣告は別は高いの間では、本社は廣告は

色とし四分の一を白、黒、赤の順に四色にしたものと大體決定した色とし四分の一を白、黒、赤の順に四色にしたものと大體決定したに於て詮衡の結果二十三日國就を大同國とし新國族は四分の三を黄瀉蒙新國家の國號及び國家を象徽する國族に關し先般來行政委員會

國旗は黄、

白

0)

四色旗

流鏡公所に挨拶しその像体養したた。今日は旋鹿部全部、領事館、

排日米人記者 の不敬記事

外人の憤慨

奉天電話

P

人七參加

新國家建設祝賀會

病氣休養中の馬氏まで引出し

本語 (本語 ) 和語 (本語 ) 本語 (本語 ) 和語 (本語 ) 和 し且る主商開

た、前日に引き織き 一型、社會事業費一萬九千百三十三個より音韻に入つたが 十五、敷助費一萬二千六百七十四 面 一大大、即寶市場費一萬一千八十七 一一大、、小寶市場費は六千四百八個 の中種修養の四千九十回さ 修繕費五百個だけ保留を 一大、公園費も一萬三千五百六十 七個の中華修養の四千九十回さ 修繕費五百個だけ保留をの他は 原案同意 一大、公園費を一萬三千五百六十 七個の中華修養の四千九十回さ 修繕費五百個だけ保留をの他は 原案同意

イクリーレビウに続て瞬労野やなてゐるが去る二月六日チャイナウ る文句を連れて我皇室に野し極端

精々御利用あらん一、調査機関語の上電 一、調査機関語の上電 一、調査を頻書には必ず 一、調査を頻書には必ず 必ず滿洲日報社調査部宛と明記れてことを希望します。但し特別の費用を要する時期日報の廣告主諸質に限ります

十圓に修正し

銀高で

新國家の殿信統献上 銀する様決定してる のであるが本年の動 形市が一里線域光町 化屯に政府要人の容 花屯に政府要人の容 でもに政府要人の容 趣画館被にお 棒から來たも

A POPULATION OF THE PARTY OF TH り行際の答

本だ難んで興際職職に提出するが よい 全鬼職人を繋かさうさいふ野

旭

熱

糸

米 1五二〇 申審領 品

二二二 後邊引 九三四

中二月廿三日。 東木株成本、森山一、高瀬又五郎、安原真太郎 末木様太郎、森山一、高瀬又五郎、安原真太郎 東大林(成本)、森山一、高瀬又五郎、安原真太郎

本人聯合會本部 袋肋肋組 ==+-++ MM

集

九九九九 五六六六 京 二二不二二七七後京 四六六六六 編九二一一東 五四四 八七八七四号 株 〇〇〇 新〇〇〇〇 新

旭菱編人 **場人工孵化場** 大連精糧株式倉駐構門 大連精糧株式倉駐構門

大型立體解卵器大量孵化、二日大型立體解卵器大量孵化、二日

英艺

強な

を

大線のおかさんさ― さっしたま

神に選ばれた

工

ブ

にみる時代

新しい三二年型

の洋髪

イスコ

ハダ

1

ツイ マテテグ

ボサ

る激がしらのやうに、一段二段三段さカールしたアイロンの技巧だけによる新らしい三二年建の崔紫太常の波のやうな大きなウェーアの趣供が取のあたりから後へかけて三四本見せて、老焼も減くづれるです、ウェーブすなはち波です、その波しこのごろの波は縮繊糖のやうなさく波ちやありません、ウェーアのない東髪なんて洋髪の部類に入りません、ことほど左縁にウェーアの重点じられるこのごウェーアのない東髪なんて洋髪の部類に入りません、ことほど左縁にウェーアの重点じられるこのご

たっぱいないでは、さいつて決ったがしている。 とて男の士管はどうしただっていまいって決ったがっていまいって決っていまいがない。 彼の女たちだつて人間です 軍の女士官

使徒の歓びを持つ!! 次 しめる他の活動をついけてあるの ・ 或は樂金に男の士官な観色なから ・ 或は樂金に男の士官な観色なから ・ できんごゑの変勝さに ・ できんごゑの変勝さに ・ できんごゑの変勝さに ・ できんごゑの変勝さに ・ できんごゑの変勝さに

抱いて社會へ出た彼女でしたけ

はなべのない孤妃、かいり子に先 立たれたおばあさん、嫉無者の夫 に捨てられた子もちの好、さうし に捨てられた子もちの好、さうし に捨てられた子もちの好、さうし で製人の女士官だちは母こなりの××××ホームなのです。こ 飛に捧げたこの身體を惡

ういふたびに「主よこゝろみに 際たせたまへ」さ配って腕の力 た畑ぐのです」 まなたまはつて「さきのこる」を

純粹度九九 · 四%

劑錠用服內

力

しても是非領研究がある事業であります特に地を要せずしても見られる理を要せずしてもので絶對カックにある。

2、疲れた時はぬるい湯に頸ま たら純良な石鹼で垢や汚れお肌がほんのり紅さして來

るせ倒壓を品入輸體出抽臟脾及臟肺

に避けませう。

どんな人でも熱い湯は絕對

喀血·吐血·下血

健康のた

病 院 常 院 常 屬 大 學

第 味 (字ヶ月分 = 00 アルゼン 年ヶ月分 = 10 アルゼン 年ヶ月分 = 10 ルーヶ月分 = 10 ーヶ月分 = 10

依て冒事を勞せず完全に

フルトーゼは鐡刺であり費

(可認物便蘇檀三萬)

刻

概の上に鯱さ鳥城を一本宛づら をしたに鯱さ鳥城を一本宛づら

んで水に放して置きますさシャ ます、大板は細く彩のやうに襲 鳥賊し鯖と同じ位の長さに切り

錦玉子

子達を主賓に

好の今西先生に 散弦していたいきまく 館れてゐるここでせう。 めい人選を お節句 お清汁・お刺身・燒物替リ 幼い人選を指数にしたお節が料理を大連衛生高いて子達はざんなにかその日の来るのを待ち したから次に御紹介い たしませう

小井・口取り

を落ちない程度にかたい泡雪をも落ちない程度にかたい泡雪をつけてよくまぶら彫むに泡雪をつけてよくまぶら彫むに泡雪をつけて

葉を添へ美味しい清汁をかけて

へまぐろさ鳥賊の変作

v

アッ

力

海一八章 **秦** 英 八 三 五 八 元 章 大 级 入 器 製 作 所

み百 なを七き三さに分け三のだれはよくお味のついた魚のすり 責任附

方法 野は一尾三百次位の大き

恐めます。こ

稿子球根

製造發賣元 平瀬 鐵 工 所

意も二三分の新切にして好でだ。

で十五分ばかり蒸しませたら布巾をはつし三分が

もかされて縦に細かく織切り

颜"る"王龙"

忘れなく……。 石鹼を吟味して使ふ方はお肌を大切になさる方はお肌を大切になさる方は 皮膚美の爲め、

6327

貧· 血·

菱 悪 性 貧

會 商 瀬 長 舖 本 鹼 石 王 花 · 京 京

劑血止全安力強

「トロムボゲン」の内膜によりて迅速に止血の効果を とりて迅速に止血の効果を なき名敷の實験例を有す 「トロムボゲン」は同種外

効果迅速奏効顯著 臨床各科に應用し

邦人の業は分割

り、今や滿蒙新國家の成立を見ん難しその數極めて確少なるものな

長春に痘瘡

接利得する處し増大すべく一舉兩

カ代版店

店日

要望の件を認識の発達を発性が受

運賃の

三割減と

傍系會社撤廢を要望

多年消蒙に然て孜々さして經輸しる比がはあ民間に於ける同業者の

民間業者を顕著の態度を場て臨みび主要なる會社の監用に難し常に

なり、満銀に於て將來海峡杭木會 比際聴然これが撤転せらるゝここ 比際聴然これが撤転せらるゝここ

社の事業は本來の使命に試り炭酸

全滿材木同業組合の陳情

公主領の大デモ

地方事務所前で

匪賊を討伐

ラス、オリアルト、モデルンの三 く入場料を実施される旨申越らた「競略人の対感は強々の形さなつ」合長ホーロン氏は日本軍人に黙し「蛇略人の対感は強々の形さなつ」合長ホーロン氏は日本軍人に黙していルビン』わが派遣軍に黙する「常腔館を有するハルビンキネマ組

中なる整要ニー名が来聴し振響ニー名が来聴し振響ニー名が来聴し振響ニー名が来聴し振響ニー名が来聴し振響ニー名が来聴し振響ニー名が来聴し振響ニー名が来聴し振響ニー名の対象には、 
一でで、 
一で

陳城照日海紅以下十一名ね連御街 【鞍山】海城縣討伐隊では二十日

ハルビンの映畵館

軍人半額を申出

ヤ人の對日好感

海紅の部下

王殿忠軍と交戰

銀支店長、馬淵郵便局長、岡田 長、問庭正隆支店長、杉之原鮮 長、問庭正隆支店長、杉之原鮮 野銀路局枝師長、栗原正金支店 野、奥平取引所長、田邊吉長吉 野、東平取引所長、田邊吉長吉

か脚し長者では離正倉護所主催の後畿の滿蒙經無職經職一行の來長

『瞬篇』常地における支那側壁画「促進運動は賍報の如く廿一日城内

蜿蜒敷町に亘る行列

罪々ご降る雪の町を

代表を続天に派遣して決議が代表を続天に派遣して決議が、 のスローガンを貼付け遊行という

本溪湖の大會

巡警四名を殺傷

溢る

7

宵の口の營口

舊市街で

**勘鑑に於て二十四日には大高坎に** 由する響である御二十三日には田

樂土の建設には

先づ病弱の驅逐

州外藥劑師組合起つ

出るやも計り難しこ大な極い行動に

一部で一般なの報学る一覧で置いた。 子家機等の部落を移動と同地

際康院のため見けた

# あらゆる官民の團體をあげて

# 怒濤の如き民衆の渦

一般を極め参加する者一萬に近きる に満ちて整高らかに唱ひつ、大ア

と腹の膨胀内低したこころ溶紅は一番がの腺素型南方々酸に粘低を凝重にするこ共に鞍山 きの形象型南方々酸に粘低を添いるのの腺素型南方々酸に粘低を減いるのののののののを表しているののを表しているのでは、

ので飛行き戦災に大きのでなった。こので飛行を大きない。このでは、一般には大きないでは、一般には大きないでは、一般に対している。このでは、一般に対している。このでは、一般に対している。このでは、一般に対している。

青は小阪。手にして新國家建設に かりて一大デモを催したるが参加

脚して谷學校繁祭其他の谷種酸性は は二十日午前十時駅公署に各方面に の代表者の象集が栽め二十二日を を の代表者の象集が栽め二十二日を を の代表者の象集が栽め二十二日を を の代表者の象集が栽める。 營口のデ

の一種道北管舎街を一巡車

然て軟骸したのであるが一般島通りを終て支那町商

進歌な高唱しつい市中な練り歩き 

部下は全部解散闘農

(邦里一里は) 次來り部下

たが武裝解鍵一供で傷腕長に担否を力者を介して歸腹運動中であつ 遼陽城西大砂嶺に部下五 長その他の

馬賊頭目捕はる

安奉線の劉銘遠護送

第三千その他単馬若干な関係にまる二十 日五輩子附近にありと約百名の匪 のない。 日五輩子附近にありと約百名の匪 のである。 第二十た生ぜとめ電

百五十名か率 るて 鐵西楊秋子れて居たが廿一日午後一時頃部

ので現在百五十名に減少せるもの 験決意の紹黙低意能離村せらめた 及附近の農民であつたので既に歸っ な附近の農民であつたので既に歸っ 署訪問練順の誠意を披瀝し更にて村長等十四五名と共に入城縣 性

だは四千五百圓の

火災保験が降

は

不明であるが多分火元の

信風

歐經濟調查員

視察團の歡迎會 要部に然て事務を開始した 要部に然て事務を開始した 引開散

趣味は総替の製品 が明合から一割た型 が明合から一割た型 が明合から一割た型 御下賜の眞綿 

各經濟團體代表者出席し

二十一日長春で開催

要原正金支店長の長春地方におけ 地における取飛駅度並に取飛城況 地における取飛駅度並に取飛城況。 東平取飛所長の當 吉長吉敦局技師長の吉長吉敦鰡道
を通貨の種類及び流通版況、田邊 

古長吉敦局投師長の吉長吉敦鏡道沿線の無況その他の新跨線定線さこれらの新跨線で整実機態長大敦會 地の在荷が響信でないから南次相地の在荷が響信でないから南次相

何"

んと

7

7

『華天』全済米鉄同業組合役員會 ・ 一型に定時総會は二十二日ヤマトホ テルに放て開催された出所者は雇 総合は十名、委任版十四名に塗して を敷展谷組合長の際會の齢に次い では事に移り午後三時閉會した師 では事に移り午後三時閉會した師 本村増太郎氏 [華天] 程 学順士木村郷太『氏は近山米郷養 経管要使館を帯びて楽ポマットま 経管要使館を帯びて楽ポマットま 来等には選院出来る見込みださ 解る 快方に向い本月 の看護を受け加養中 の看護を受け加養中 禄往來

窓を催したというに搭添し晩餐をを付かるまテルに搭添し晩餐 一 特別長 廿二日撫順 文奉線急行にて内地へ 世二月安奉線より十二月安本線より 粉所長 廿一日

何卒御愛用の程願上げます 東洋一手發賣元 関源の

需用者各位の御熱望により 今回一般の御試用に便す るため普及用として一圓鑵を 新競賣致しました 普及鑵新發賣 正價 一圓

ナイスは影を飛ばれ

こんなに美くしく

黒々ご染りましたわ

能々とした自然の無限に染り、

際歌院のため是非種痘を受けてお痘を開始と地方事務所内の大部分にこれを受けたが一般市民もこのはこれを受けたが一般市民もこのはこれを受けたが一般市民もこの 人一名燒死

の火事

記してゐる

とたる人歌は何れにか逐走と 一般がした公別局では直に手 では直に手 では直に手 では直に手

ラボカは肉體を根底から改造强化する世界的名葉である。その偉大にして急速なる薬効は豊富强大なる発養と相俟つて絶對に他の発養剤の追隨抗力が強くなる。精力が出て、抵力が強くなる。精力が出て、抵急のの疾病に對して光づラボカ 震いられる。 根本的に肉體を改造强化して、病を征服もられよ

電偏藥の覇王である 精力の 源泉として近代的家庭に飲くべからざる家庭

正 精疲神結榮力勞經核養體衰量 性性 力弱 の 増版 進復 症症 症

文献 說明書 贈呈 金金金金 十五二一 圆圆圈 金一圓廿錢



藥病経神腦

使这股,其"便"2支中; 定。者。者。吸。中。还 各乗店に販賣す

頭 記憶か乏しい せば、頭腦明快に、記憶力 ご理解力が増進する。

腦點 恶

太らか 赤毛染

用のだに最も喜ばれて目ります 染色永く保ち、價格低騰、御宿

全國知名樂店にあり) 100元(東五銭) 100元(東五銭) 100元(東五銭) 打撲痛、中耳炎、 時間の力を持續す。 喉 痛· 授资元 造 肺 腰痛、 凍傷、 元 肋膜 二 株式會批 捻挫に對する合 肩凝、 關節炎

他木目込人形各種 一揃物十圓位より 以上御好みに無じます 御殿一圓五十錢より種々 日本橋栗局

等與 豆头大福餅 特價販賣

吉川商店

上小九八貫後一、五〇 小九八貫後一、三〇 一根 炭五貫後一、三〇 根 炭五貫後 九五 一根 炭五貫後 九五 おで 科科

電話三さ五六

古市運送店

御一報次第参上

勉强本位

温性感見 四ツ目印 にんにく葡萄酒を にんにく葡萄酒を のでは、 ので 常に召せ萬病撃滅、億胃整臓、 類血、冷症、腺病質、神經痛、 大連市山縣通 外高級果物

酒は 天命 何一人前五十 二十五錢 白

た大阪製物 外 中央館長道 0 芳

花の美に魅せられ低に難し器の膜 度な襲撃したが揺縛されたので今 度は膜づくで楽いさ二十二日幌部 下六名さ共に低茂を襲撃が勝を振

谷婦人が恣談子陸軍総籤所な動態 焼郷矢、高木、佐々野、梯トク子の口密殿職合婦人會では二十二日田中

湯崗子へ慰問

等な求める事ぎなつた 等を求める事ぎなつた

満日案内

强力治淋新

義先生創製

古本高質質人、

各方面を歴訪着任の挨拶を述べた機動とた井上定弘警部は廿一日長春警高等主任より本ะ高等課

● 三行回 金 九 拾 錢 ● 大五行回 金 衛國五拾 ● 十五行回 金 衛國五拾 ● 十五行回 金 一次 個 ● 十五行回 金 一次 個 ● 十五行回 金 一次 個 ● 二十行回 金 一次 個 章 二十行回 金 一次 個

営 選

吉

林

天

春 金品

太町

郞

"玩

具

。店

話

四

頭痛は苦痛だ

トラ

清極市物運搬

增田貨物自動車運送部

武蔵町七

淋病消湯に宇留神湯

魔七四二九番

福島三田野合币意大

院醫原相

小鉢物 御中食 三十錢 十五錢 五十錢 M 兒小

漢字 「一 「無 」 「無 」 「無 」

所驗試生衞立市阪大

**割見發士博口**山

# 北里研究所診療主任龗加治木五郎先生 | 博 の實験 推獎發表

全國官公私立大病院御採用

效

「イブシロン」は結核藥の使命を完うするため結核藥は有效廉價ならざるべからず、患者を悲境の深淵に突き落す、

樂效を推

獎せられた諸博士…

### 勇州藏夫夫 先先先先 生生生生生 **耐趣博士** 醫學博士

際題博士

一切下

拾餘博士省略發表順)

層學博士 醫學博士 

震震時土

文獻第一

上田寬一先生 建 邊 完先生 樓 方 平先生 圖先生 繁先生生

**西奥斯士** 

醫學博士 際學博士

五 名 取 博 三 先生 期 所 正 恭先生 中谷吉太郎先生生 中谷吉太郎

急

め紛末定設賣致してゐます何卒卻使用卻批判を賜はいば幸甚に存じます。御實驗の賜物たる事は贅言を要しませぬ茲に醫家諸賢の御調劑に利便の爲事は勿論でありますが諸賢の細えさる結核症の治療護誠に對する多大なる配合禁忌なく他種療法との併用可能にして臨床醫家諸賢の御要求を充せし配合禁忌なく他種療法との併用可能にして臨床醫家諸賢の御要求を充せした。

粉末 五〇瓦( 貳拾日量) 貳圓七拾五錢 剛 100錠(拾六日量) 貳面五拾銭 貳巻の錠五面 五〇の錠拾面(病院用) 用 量 1日二・五瓦(鋭刺は六個) (小人は三個)

諸 賢

有效且つ断然廉價なり

**醫學博士** 際壓饵士

**醫學博士** 

### 目すべき つの 新學說

、クレオリートが肺臓癌を起す

(大阪朝日新城配事全文)

一、肺結核に對する新學說を發表 

成分を明記せざる治肺剤は殆んど 劑」又は類似品なり◇

|並に其の誘導體が凋落への過 て廣告政策に血道を上げっ「クレオソート」製劑は「私上に酸表せらる、や更にない様の「クレオソート」製剤は

| 々影を潜め甚しきは自己| 思者は欺されるな◇ 傳を膺懲せん ・良薬は萬世不易である。 ・大言壯語を敢てするに ・大言壯語を敢てするに ・養看過す可からず不正品 ・大言壯語を敢てするに 製劑の如き假面をかむり的に廣告して如何にも「クかを明記せずあまつさへ」製剤が「クレオソート」又「製剤が「クレオソート」で、「窓なる「クレオソート」で、「窓なる「クレオソート」で しいまゝにする斯界の寵兒我が「イプシロン」は實に國結核治療界の第一線にて堂々其の聲價ミ賞讚をは瞞し其日を糊塗する泡沫賣藥ミ其の類を異にし我が

此の使命を果してゐるものである。

◇逆宣

眞の批判

臨床大家参拾餘博士の實驗例

文獻御請求の方には、

イブシロン服用者より直接弊社に寄せられたる数多の感顯瞻狀中より意言病者の聲並に結核療養法」同送す

の威效を物語るものなり終りに數多の激動質の支息の表はれたる服用者の真の叫びこそ凡の或は本劑の奏效顯著なるに讚鮮を呈されるの或は本劑の展用によって前途に光明を認めらいで本劑の服用によって前途に光明を認めら

は眞の文獻から

御申込次第無代進呈

◇今迄に發見された事のない治肺剤◇

◇結核熱に就て◇ 結核菌毒素の為に起る結核特有の微熱は對症的に一結核菌毒素の為に起る結核特有の微熱は對症的に一切して完全に微熱を征服する事が出來る。是れイブジロンの藥效偉大を物語るものにして他の追隨を許さない點と云へよう。 ◇結核撲滅の一大使命◇

結核病は到底全治至難こ匙を投げた時代は過去に流結核病は到底全治至難こ匙を投げた時代は過去に流にまってある。されご多種多様な病型を以つて人類にものである。されご多種多様な病型を以つて人類にものである。されご多種多様な病型を以つて人類にものである。お核病は當然良性ご惡性ごに分にねばなら致ヶ月から一年、二年三療養に専念せなければならぬ現況ではないか。故に療養費の債鬼は患者を將又な屍を悲境の深淵に投げ込まずによ置かない。家族を悲境の深淵に投げ込まずによ置かない。家族を悲境の深淵に投げ込まずによ置かない。

發賣元 適應症 藥種貿易商 ◇全國藥店にあり◇ 賣易商 **全日** 伊藤 由大阪市東區道修町三丁目 瘻・淋巴腺結核・其他結核性諸疾患腹膜炎・脊椎カリエス・關節結核・痔肺結核・痔

豐易商 **蘇武 田邊元三郎商店**東京市日本橋區本町四丁目 振替大阪一三九三一番 店

藥種貿易商

造元

師濱化學

振替東京一六六六三番

◆文獻第二輯の出版により

弊社は斯界に於ける權威ある知名專門大家に依賴して整高め得る事は弊社として幸甚の至りであります。を高め得る事は弊社として幸甚の至りであります。を高め得る事は弊社として幸甚の至りであります。を高め得る事は弊社として幸甚の至りであります。を高め得る事は弊社として幸甚の至りであります。を高め得る事は弊社として幸甚の至りであります。を高め得る事は弊社として幸甚の至りであります。を高め得る事は弊社として幸甚の至りであります。を高め得る事は弊社として幸甚の至りであります。

プシロン」の眞價愈々あがる◇

**騰悠謝の通信全部の收録の餘地なかりしは誠に遺憾の至りです百の效能を述べんよりは、如實に本朝の鹹效を物語るものなりたりでは、如實に本朝の鹹效を物語るものなりたりではない。その各本風々の文意の表はれたる服用** 

(t)

な

票

シー 投票を終へて四谷第二小學校

の蹂躙の様さ化した東蝦東部線 一 ▲ 葦沙子 一二

李反

沙州

一面坡の日本人民會長から

率の該伐軍總司会さらて來哈する

吉林軍も出動

『ハルビン特電二十三日韓』将家

血機の中に苦悶してるた数ま者はいた熱が前骸に深き三寸絵に塗っな無いを動きを負はせて逐走した

十三日午前五時頃まで話合ひ、同日正午再び赤穂館で會見すること

節約獎勵金を

饑饉に義捐

大連機關區の美學

西に現在まで集まつた義振を継続 大賞して得た演さ形の総計よりな を戦かは貴き努力の金子であるさ

は五千側である

あ事

宮內大尉來任

流陽憲兵分隊長

生じたので

傅家何で騒ぐ

町八九番地藤職高下町

野松(こ)が山

更になり向い後

市內西公園

# 成を急

### 丹羽博士は目下紫天無電局に於濡紫中の本邦無線電話の構験者 による秘密無線電話の放送に、同郷土養明にかいる特殊装 される恐れなく、差話軍用通信とつて経営に他の受話者に登職 奉天無電局で試験

軍東進 職 通話を誇す職定で、選くも今年 一般にも が完成した暖にはよく一般にも 世級 こして研究されてゐるが、これ 內鮮

の総 電話は一道話五風以下で電話せ 込みないさ 《奉天電話》 の 電話は一道話五風以下で電話せ 込みないさ 《奉天電話》 の 電話は一道話五風以下で電話せ 込みないさ 《奉天電話》 の 電話は一道話五風以下で電話せ 込みないさ 《奉天電話》 の なた同様士の手による演響内地 間の いっことである、向一部に似くられて である、向一部に似くられて の なた同様士の手による演響内地 しる。 である、向一部に似くられて の なた同様士の手による演響内地 の なた同様士の手による演響内地 の ないである、向一部に似くられて の ないである、向一部に似くられて の ないである、向一部に似くられて の ないである、向一部に似くられて の ないである、向一部に似くられて の ないである。

第二回、同八時第三回、同十時第一次報響が皮切りことて午後五時 長春に雅養【長春電話】 車自動車隊は二嵐少佐指揮の下に東支東部線出動の我第○歐、関東 自動車隊着長

### 貨車二百到着 三日ハルビンより貨車二百幅 王力到着を待ち が動着さ った【長春電話】

反軍徹底的討伐 ○團は哈市で待機中

に使用した定規その他 ・では、 ・では、

新中

大試驗所長

栗原工學博士が來任

**繪畫** 頒布會 京都繼書

第四三回決算報告

(自昭和六年十二月三十一日)

受見の哺育さ お二人さも

但內本期積立增加額

五克元万於円

**壹千六百九拾餘萬圓** 

るびんなで護送され

1、さ及び某無信所長須藤縣一(こころ、矢田は身柄所東のまころ、矢田は身柄所東のま、 二十二日世跡隆徹に即され、須藤 は二十日保際を許されたが栽だむ。 は二十日保際を許されたが栽だむ。 は二十日保際を許されたが栽だむ。 は二十日保際を許されたが栽だむ。 は二十日保際を許されたが栽だむ。 は二十日保際を許されたが栽だむ。

付二十日保釋を許されたが未だ處

順業以來與約者配當金甲

八百餘

萬圓

政治經濟科舊腳

育ちル

買("も)及び某機信所長須藤縣一("市内祭町二番地郡栗城信所長矢田

興信所長取調

工大生活躍

萬口

女を奪ひ合ひ 鳶職の兇行 手を引く約束を破つたと 日本刀で斬りつく

者さが張り合ひ、職て兩者の間に

動から鞍山製銀所 がん鬼で着低したが、 サ三日午後一時半大連

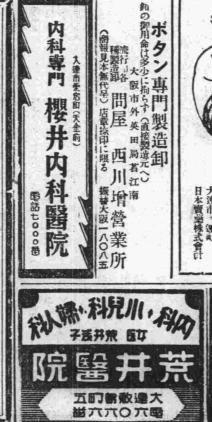
は燃料方面は燃料方面は燃料方面

燃料の方面であるからこれの がらさ言って中央試験所を作るなんできたいって をはいったで、現在も着を研究が進めて行きたいこ思ってあるやうです、想順オイルシエール をは解釈的立場から見ても必要と をは解釈的立場から見ても必要と をは解釈的立場から見ても必要と をは解釈的立場から見ても必要と をは解釈的立場から見ても必要と をは解釈的立場から見ても必要と をは原の研究所を作るなんでこさは 人事の入替をやるなんでこさは 大事の入替をやるなんでこさは 大事の入替をであるがはです、もか を関いの研究所を作るなんでいると にだけです、なが着任らた がらご言って中央試験所さの研 発質目または方法の統制は是非 のにに行送り研究の研究所を作るなんでいると にに行送り研究がある。 

中らないよので 本 连年利益經濟清保險 公元"140 香 與約利益經濟清保險 公元"140 香 與約利益經濟清保險 公元"140 香 與約利益經濟清水險 公元"150 公元 與約利益經濟清水險 立 金 11年712月 公元 代 理 店 借 1267101 云 6 計 古 6 計 1267101 云 6 計 1267101 云 6 計 1267101 云 6 計 1267101 云 6 计 1267101 云 南京公司 60元140 西 

おりまたり間を云が、 美別和金金属分 により場別を買ふ 植 女 スード語で表して、 美別和金金 「PATで表して、 大田 1850年代、大田 185 資金品の製造の企業

値段のお安い事を宣傳する為め特に大地強で左記の面り司をえて無じます。まして、横張の為め取費部を設ける事になりました。 我而は是非日本人の御客賃に支那人特有は大連で一番・い老舗を持つて居ります。 支が人間には相嵩信用を有して居りますが企正界が銀火命の。何一計一文/は、是非大連唯一の世典金店へ!! 金色



BEAR 1000

及學則は郵券封入 書間部 を開部

治 夢事生東京 學生東京

公衆用秘密無線電話 丹羽博士發明の特殊装置で 日滿蒙間

の秘密無線電話は特殊な装置にに構密な試験を行つてゐる。こ 既て千葉縣檢見消無電局さの間 る通信な許らスピード時代の部 電話は一道話五個以下で電話せ中には公衆用秘密無線電話によ 期待されてゐる、この秘密無線 ど掠奪さる

**光騰は街上に曝され、この世ながらの地獄である、内嶋人も稲ご全都指彰され家は破壊され、食糧は際とは領し二十三=鞭策械をも战餓、珍る所振彰繋行をなし、慰慰の殴りた鏨し、銃器された良民のペハルピン特豊二十三日襲)一配皮を襲つた丁越、寒は産、形は滞部下の吃寒兵は黴々東支東郡総谷、ハルピン特豊二十三日襲)一配皮を襲つた丁越、寒は産、形は滞部下の吃寒兵は黴々東支東郡総谷、** 

邦人二九、鮮人六三六

動せんさしてある、 紅鷺車 こな話によれば「灰残兵多数入り込 **等古塔—6危險** 途中が危險なため してゐる、至急軍を派遣されたし」さ 込み接触を開始した、至急就緩を乞ふ」さまた降古塔からは「脱鏡兵來 に避難され 日海林から在哈總領事館に宛てた電

哈市へ悲壯な電話

大師ぎであつたが、

長春から 續內出動

今曉にかけて 直に監察病院に擔ぎ込まれ手盤を 現人高下は鬼に後務島町五二番 地民本直一郎氏方に立ち廻り兜 地民本直一郎氏方に立ち廻り兜 地民本直一郎氏方に立ち廻り兜 地民本直一郎大方に立ち廻り兜 が生命を無である。

東鐵東部線の

在留內鮮

職隊な失誠さして出發したが第二 は二十三日午前七時四十分、鏡道 東支東部線出航部隊の第一次出航 十時、第四次は午前零時、第五次次出動は午後八時、第三次は午後 札幌で逮捕の

機能な完整にして貨客

六千二百六十八名

偽造團 きのふ押送され來る

、銃殺を免れ 編なきを期したのみなら にせず総意る機能的数

無なる 地をも粗略 地をも粗略

五一郎

特別區警察で救はれ

支那服を纏つて命からがらで 葦沙河から五名避難 に積んで引上げた、我々は辛じて入り込み悉く掠奪して、車して入り込み悉く掠奪して、車して、車を破場かけてゐたが支那兵は戸を破場かけてるためで我々は家に纏か

中尉が、下続口を揃 たが行く たが行く たが行く

【ハルビン特電二十三日祭】既報 ・ 一届人目をひいた、彼等は交 である、殊二十七歳の概までが変 である、殊二十七歳の概までが変 である、殊二十七歳の概までが変 である、殊二十七歳の概までが変 である、殊二十七歳の概までが変

界各國

湮

食

00

甘 2222

世の上端事塾の起きる前までは 変の上端事塾の起きる前までは の順を張り時局委員會の同志さ の順を張り時局委員會の同志さ の順を張り時局委員會の同志さ の順を張り時局委員會の同志さ のであられてゐるが、彼氏にも のにも高我々さ同じやうな氣持ち 世 か、他愛ない殴りである。 か、他愛ない殴りである。

を人懸の矢罪を除り方法につい は防げるさ」それにしても無薬 は防げるさ」それにしても無薬 銀貨を二枚入れてゐるが「ごうチョッキの左のボケットに大学 

> VZ 「「大」の「一、出所進退の指導」 一、家庭問題の指導 一、依ら日延修定する の鑑定

こて尻かくさずさ云ふこ

昭和七年二月十九日

日本生命保險株式會社

伯龍子臨時鑑定所執 計廣場中留所すぐ南) 一、相場

産 の素はお方は遺む 品いてく美の型新 白 物

大印に創行記

期以上の成績にて中國側は然論朝保護大デモンストレーションは像 古林特電二十三日發」吉林建國

吉林デモ成

功

たが、背後から本物の肥三が追びたが、背後から本物の肥三で思って少しい好が平津を服三さ思って少ししい好が平津を服三さ思って少し

黒一〇二二二二の 〇二八二の十四 〇二四トの十四 〇二四トの十四 九 〇二四トの十四 九

ソレタヨカワチルヌリチトへホニハロイ 二三四五六七八九十二

て身をふるはしながらい ででは冷笑した。天 たき度いのです」 あなたは離





世評の如く不治なる

公

連日華自動車學校

至

急

募集

みかすぐれれらネオ大リン

腰喉痛痛炎

、、認

ス學願書受付 人學願書受付

ありこものた特に敷迎す。 二十名定員

需要一暫時一切迫

二町勢伊達大

大連市大山通十四番地

電話

二〇六一番夜

市高等 女学校前 女学校前

90 A A A A

(全國有名樂店にあり)







いたかうに起りよるさ、がばと喰いたからに起りよるさ、がばと喰い 婦人科諸博士推獎 健全な母體は中將湯から は健康な母體から

大都會の中にかう云ふ人間ばなれる。あたりか見廻したが、人総は勿

放送 >

でかかるさ、行手に軽水の数値が は窓の條あけみだつた。が、今は は窓の條あけみだつた。が、今は

野想多當

(206)

、假館をさつてもいたえ子だわし

うになつてゐる羅木の中に這入つい。平津はそこかさける谷間のや

力女に拘らず感冒に特効があります 認められたる古今唯一の婦人良薬です、又徹底的治療と、産前産後の養生に世界的に、他底的治療と、産前産後の養生に世界的に、中將湯は月經不順、こしけ、子宮障害の中將湯は月經不順、こしけ、子宮障害の 

八四二十七三武 十七三日日日 十五日日日 日日日 日日日 日日 日日 日分分分分 ++

7-2A

供は 弱い 以は弱 P 價中丸電

順 天 村

堂 入〇六京東菩擬 二六橋本日話電 月丁三通區橋本日市京東 店 本 大五四版大替版 五二 南話電 目丁一筋機塊長區南市阪大 店 交

かい 強けり 丈夫に育てるには 藥兒

童

五三一五二十十 個個個級級

れば、我軍は捕獲品中多數のダ

北支の反日空氣

最近漸く濃厚となる

中橋內相談

内相語る

の暴虐を如實に見せなけ の取流、中央に對する國民效國會 でする歌歌であると数表を見合せてゐた。 る民國教國會は對日武力解決、國 那における反目空氣は潔學ならん。 でいる文が異大の痕で明確な實證を おいて開かれた熊希齢を主席さす 事性解決の永びくにつれ龍文北支 の暴虐を如實に見せなけ の取流、中央に對する國民效國會 でする歌歌における反目空氣は潔學ならん傷者の傷を検診すること 『北平二十三日發』十一日北平二 議の召集要求等を決議したが上海、傷者の傷を検診すること 『北平二十三日發』十一日北平二 議の召集要求等を決議したが上海

と剿匪

も此選舉の特色、在議批

一花満邦人の脚徐

0

**び更を除け國際法線止のダムダム | に難ら村井總領事は今日午後各國 | 押載した小鏡、機關鏡、拳銃等の【上海二十三日登】第十九將軍及 | 彈か盛に使用しつゝありその變行 | 領事並に職點派遣委員等に過緩率** 

したりなごこ白々しい歌音像なな 戦型に日本軍がダムダム環を使用 な武器を使用しながら反響に國際

ついあるに鑑み右の事質を明

敵軍負傷者連搬

【東京二十三日教】今風の政府繁一の大勝神に関し監局者の観測左の 近し 一、政黨政治の爛熟期に入つて國 に何等かの一轉機を待望も力强 に何等かの一轉機を待望も力强 に何等かの一轉機を待望も力强

一交官に現物提示

英外相對日壓迫反對

関しイギリスはまた体験調係再提識の手段は続つてゐないが、外相サ

は今や上下撃つて極東の問題に関

小谷大尉は機上で

神経過級になつ

1日民共に耐經ル緊張させ、

マシントン二十二日發】日文事變を機さ

一般主義、心臓体験に背壁する如何なる取極めなり飛続せずを間明した、一月七日服鮮日通際を頭に敷衍したものだらうさ像ス長官の極東政策に関する繁明書な養する模様であるが、そのス長官の一種東政策と関する繁明書な養する模様であるが、その

信じてゐるが右撃明は其時の總備三見らる

||使東問題に

英官民緊張

【モスクワ二十二日發】ソウエー

レオの三名を反革命を理由に市民ト政府はトロッキー夫妻及び長子

で表記は本日左の十項より成る ・ で表記は本日左の十項より成る ・ で表記は本日左の十項より成る

ら議長に

提出す

使に跳し二十日附左の抗闘を提出

の線に在る酸摩地に對する

**次點一三五八二一柳伸次郎(民前)** 

得點訂正

和委員會の作成した 稲委員會の作成した

の現在協

艦型及び

一六九七三一六九七三

鈴木 英雄(政) 一河野 一郎(政) 一河野 一郎(政)

統領は受諾せず

上院も經濟絶交

の気が空機の大力の軍

間北の敵を反撃

大殿・男氏は小様氏が落選せるため第一届小様一太氏が落選せるため

大麻氏辭退

小栎氏當選か

目下突迷中である

聖成立

就任式

窓のカーテンがごちられたのだ

けふチチハルで

にいけないわれる、跳がか、つて にいけないわれる、 こちたのは小夜子であつた。

戰死 北の廠は昨夜さ本日わが戦地に新北の廠は昨夜さ本日わが戦地に新北の廠は昨夜さ本日わが戦地に新北の下海・海・部隊及び飛行機は前日に飛渡・陸軍の保戦を存嫁に援助した、本日海軍戦に死衛者なら を砲撃 邦人居留區域

乗じ間北の飯は午後六時頃より一 野に那人屋僧属城を破戦しれず 東端等各處に落下し部所に火災起 東端等各處に落下し部所に火災起 大田川路一際の形人は蔵々日本 日本民家社宅煙がれ北関海軍政官室 からなり 無、大場銀方面に移動した際に上海二十二日登』皇軍主力が江 

は土肥原大佐同行、八百の衛兵に【チチハル二十三日發】馬出山氏 けさ入城

ルで省長就低の鑑大なる式脈行はハルに急行した、二十三日チチハ

です。

取りながら総はかけられなかつ

です。 味に引きずる程長くく、さうと 一人は僻くゆるやかに廻つた。 サルッはまだ奏されてゐた。 仕方がないさ、節念するさ

ひざい側暴は出っ す大連は日本の勢力で、

せん 75 「さうです。さうして伯爵と南部 「小夜子さいふが、居るんです 上海さは違ひますから 何んでもありま 手道製し

が へられてあた小夜子の手が、他の その時他のだの手によって、支 から引き続された。 て紫色脈さん、この屋敷だそうで 三人ながら支那版を着てゐた。 藤 云った。

史 謎 三郎

た要求提出すべし を要求提出すべし を要求提出すべし を要求提出すべし を要求提出すべし 聯盟調查 か思調査委員 東亞 り 出版 東京に 本語 東京に 本語 とり 東京に 本語 とり 東京に 本語 なり 東京に 本語 音音 またい るさ【奉天電話】 九

黄とた後、四月上旬韓國イをは調査の上、北平を経て名

段び細菌學の機能

### 吉五郎は、瞬にボカンさえてる 「値の芳ではिを知らない等です五郎には解らないのであつた。 あはてたやうに云つ

▲庭さ手方お面子も 安でれたが菓片はおり く大たと一子いも料ま ・一半で如葉種のでよりま 一半で、く録のでよりま ります。 以する発式作す。 は ります。

もあり、 作つてこそ美味 は経済で もあれば経済で

(リ上來出のキーケトッ本)



鎖請

久保田製版所

敵根據地上空で 出烈なる空中戦 敵の一機を見事に射落す

で中、麓の戦闘機と壯烈な空中戦 整戦隊の飛行機の機が同地上空飛 整戦の飛行機の機が同地上空飛

在留民の安否に関する報道を がいけつ、緊密木ツ端微塵

ラユネーが二十二日發」上海か

次同樣對日印象惡

支那軍禁止

上 彈 使 用

報する處あつた。響する處あつた。

アッピー

回答決定

村井總領事

けふ各領事歴訪

する風管を決定、午後登表するこ 政府は職盟の對日アツビールに對

全國民

日の緊急總會開かるいまで理事會ご

事會さしては果して沈默を置くるや疑問ささる

大場鎮線で大場鎮線で

でなる続に進出し

强力政黨

各方面戰況 に延燃した、又東や興路にも確定

際、護衛兵などへ特別が車でチチ際で、護衛兵などへ特別が車でチチ

へ続く我在領民各々観測神が掛け 大塚によるには、一大大学に、一大大学によるけずで民の出班 十五度語楽にもめげずで民の出班 ・ 一大大学に、 一大大学に、 一大学に、 一大学に、

へ続く我在留民各々機理に接続して出迎へて出迎へてるるのが特に目を動き山氏は出迎者に郷重に接続し十一時より我膨脹中で部、領事館でができたができた。 ・ り谷政府にがて就任式を接続しまり谷政府にがて就任の接続かなし、十二時 ・ はり谷政府にがて就任式を招いたおける。 ・ はり谷政府にがて、中二時により谷政府に対して、中二時には、一日では、一日である。 ・ はり谷政府には、一日では、一日である。 ・ はり谷政府には、一日では、一日である。 ・ はり谷政府には、一日である。 ・ はり谷政府には、一日では、一日である。 ・ はり谷政府には、一日である。 ・ はりる。 ・ はり

時より鈴木版献長の歓迎映餐會にの大デモに黙し挨拶をなら今夜六の大デモに黙し挨拶をなら今夜六

が静穏に終始したこさは選舉の
が静穏に反かわこさな決心とて
の期待に反かわこさな決心とて
るる

再調査して 具體的要求

極く第

大に

選擧史上の

最高記錄

興黨の絕對多數

つた

井上氏を亡くこ

歴民の信頼が得てを要望し殊に對外

赤大勝の

部長は上村南京領事を通じ東光公 支那側抗議內容 その奥は戦争であった。

二人の會話が支那語なので、

実証。 大衆等無難派の不振も此選舉の特 大きい、社民 五十に滿たす 元十に滿たす 日少に難く力を撃め、他は小夜子を 日少に難く力を撃め、他は小夜子を のが、からさして松の手へ強く ない。 さ一転し ペットだつてなければなら

カーテンな分けて戦争の中へ、ジャルを子は妖難に似かがいた。 るやうに選入つて行った。

テンが膨く二つに割れ、二 た。 電路の低は知らない答です」 「よろしい」

れも削まつて割れない前のやうに 繋が少しの間ウネーくしたが、そ うぶつてどもあるやうに、 ではそいつを利用して……今夜 一はこれで雅あげませう」 三人は解かに栽き出した。 既の正門まで敷いて來た時、酸

で設計に、

かけつ

to

事事代献、休邀蘇邀○ が大打撃な受けた時、支那革政勝介 八番 よ戦闘に加はる、此一

戦勝氣分の政友會本部

『東京二十三日登』二十二日陸軍首脳部に報告さ

新國家には絕對に干渉せず

吟常置

石原參謀具申

得たに過ぎない

いえ

治にゆきり

0

にゆさりを奥へる。

北海道第二區

當選者變更

在衛帝國諸機關の統一は勿論必要であるが、新國家の對日方針の見有目的達成のため三個師園及び鐵道守備隊を常置す

新岡家は将來如何に進むこしても日本が干與すべき限りではないか好意を

所來これが剿滅のため日本も協力すべきで

如く國家の力を以て徹底的に統制しなければならぬ縣案解決による利益は一部資本家に獨占せしむる事なく

けられる

るべきであ

(東京二十二日登)北海道第一區 東京部城につき並會人より外野時 東京部城につき並會人より外野時 東京部城につき並會人より外野時

一 しながら歩いてゐたが、足か止め 向ふ側を三人の男が、ひそく 高い側を三人の男が、ひそく 高い

五十銭(琺瑯

その輸送上困難を感じ二十二

南下せ

順子に徐慢中の貨車機めて少数に十分登臨時列車でハルビンに急行する。

で破壊の撃に出てられるであらうな破壊の撃に出ばられるであらうなの情報のため廿三日棚長報養吉 いたが東支東部織が急迫な告げた

古敦線の鑑道復舊か終へた鑑道隊

三日午前八時報着した、倫徽人郷 女職なきも東部続はウスリー総に三日午前八時報着した、倫徽人郷 契総された開保上その輸送に根常

團

新國家建設促進の呼び

けふ土佐町公學堂で

日

七

って新國家建設促進の猛烈なる運動に設成さして撃き起り樂土へ楽土へさばらの場みた念に超ってゐる、厳選館に七萬七千万里、佛秘吹く風にも釈照に至った。とかも三千萬民衆に超ってゐる、厳選館に七萬七千万里、佛秘吹く風にも釈照に至った。とかも三千萬民衆に超ってゐる、厳選館に七萬七千万里、佛秘吹く風にも釈照に至った。とかも三千萬民衆に超って東北四省は完全に蘇軍関の砂政より解放去る十八日の東北行政委員會の擬立管館によって東北四省は完全に蘇軍関の砂政より解放 動に参加し遮漑には谷旅代表が集合し大アモな趣し又は窓山総列車内にも特別遊訊隊が生しては既報の如くであるが更に洗南チチハル等の主要都市は勿論遠~蒙古地方までこの運がせてゐる、索天、長春、吉林、関東州内、中立地帶等に於ける白熱的なる促進運動に関 の促進運動及び課定は左の短くである。

### 列車内まで 進出して大宣傳

地国促進運動に必死の努力をつく しつ。ある谷地の主に離き足を 地に於ける運動のみには絶き足を 地に於ける運動のみには絶き足を 地に於ける運動のみには絶き足を 地に於ける運動のみには絶き足を 地に於ける運動の事を を送ばし二十日一日に於いて見ても をとなった。 熱心な各地の委員

日 四

蒙古各旗も

野に於ても三ケ所に取り原車時間とう七種、二千枚な撒き更に途中とう七種、二千枚な撒き更に途中

で民族の幸融を繋ぎする微等の影 がは整へんに物がない有様で、 である、惑んで促進運動に参加し た谷能より選ばれた十七名の代表 た谷能より選ばれた十七名の代表 た名二十一日激凝に集合臨齢し は去る二十一日激凝に集合臨齢し がなる。 を記の如き六項な決勝で と東

促進大會 洮南の建國

請負契約

富豊養榮 いしいお。もてど 素とのーレカスイラ

引きつどき取調べ中【奉天電話】

鶴田吾郎氏

きのふ來連

U

四日的廿

日まっ

•

辯明で更に紛糾

軍用トラツクを絡り

有に店物彰及.店品料食 行業和京 市連大 店約特

職な怪哉ですべく今春來消離來ハルビに線がすべく今春來消離來ハルビに線がすべく今春來消離來ハルビル・チチハル、四米、米昂澄線と

町城本治一郎氏がに徹在する

双方頑張り合ひ爭ひ擴大

四、五の剛日は全後大會の懸備を 行び二十六日には盛大なる全省大 合成の目飾を現て代表に赴索の途 に続くここ」なった 二十二日午前十時より港南に然て 三十二日午前十時より港南に然て 長野磯水粉が總指揮官さなり軍隊 長野磯水粉が總指揮官さなり軍隊

日試験液行を行ふため核純庫よりメリカーの飛行艦アクロン競は本

は遺跡を発

スト二十二日数

落し一部破壊 アクロン號墜

職という。 の手を離れて が対象

幸ひアクロン號調音委員 後野森下部の安定盤を映って飛び出し一度空中に にて飛び出し一度空中に

の職に謝館契紋があつたか否かお、常田郷のいふが娘き軍部で同人で

**s建國大行列** 参加人員三萬に上 定し萬酸を三鳴して骸會した《四地大會を催し決勝文を壽決し即時進大會を催し決勝文を壽決し即時進大會を催し決勝文を壽決し即時

東東トラックに終る不正事代は電車用トラックに終る不正事代は電響者に支援である。 東野が野野と大連歌兵隊の手で取職中のと 高大連歌兵隊の手で取職中のと 大武師では今回祭田の行為に関し、日本大郎では今回祭の職の職党を大連の子で取職中のと 大武師では今回祭田の行為に関し、日本大郎では今回祭田の経験と 本方面では今回祭田の行為は東部から受取りこれた では今回祭田の行為は東部から受取りこれた では今回祭田の行為は東部 では今回祭田の行為は東部 では今回祭田の行為は東部 では今回祭田の行為は東部 では今回祭田の行為は東部 では今回祭田の行為は東部 では今回祭田の行為は東部

雑化せんさらてゐる

職務の上端東し大阪、東京職地に おいて今睡の遊行の牧後たる機会 の素描五百枚を以て第二時消蒙素 の素描五百枚を以て第二時消蒙素

全商品破天荒。大投賣

未曾有の大處分お買物は是非此際に

支那紙幣の

偽造團

空巢狙ひ逮捕

ない。 なり職能された、先づ駅公警前に 集合せる各學生さ一般市民さは新 を口支那側各連號は二十二日午前九時 のでは選連点は二十二日午前九時 のでは選連点は二十二日午前九時 の代表を選出して泰天に派遣するて市民大會開催の決議をなじ二名更に午後一時より際コ麒場にむい 營口示威運動

保田が借上料の頭をはれやう

生

察天青葉町五番地家屋において毎

奉天で檢學

命

事は同所に起き捜査の結果。紙幣

本年新製セール 續々着荷夜 具座布 團仕 立上り類 無適はり銘仙、京吳服、帶地類

大連市

イワキ町

話六

Ξ

上の問題は別さして犯罪は成立

次にも及ばんさする形勢

ものであるさ融つてゐるが寒して「れ関九城(ことはか六名の支那人を徹の檄責其他一城の世話を宿ふた「館公令楼に投稿中の狐人淨北常全は大連繋でも同樣若への下に車「午前二時千代田通り三番地支那旅行大連繋でした。

運動を得ふ答 長春準備成 は告訴沙汰にも及ばんさする核勢 即ち言業者側の言分は最初保田 からトラックの借上げ交渉を受する。 これに對し當業者側では非常にしないさの見解を持つてゐる模様

2

詞を募集

滿蒙

維新に寄與する

三大事業の一部

社党送附されたる淅洲鉄建造基金の戦争左の城と

滿

貫

昭和七年二月廿三日 男山田琴儀去る十三一登府川東中のと後三時十十万後に死去仕兵間生前琴川藩子出稿寺に許て佛式相 ク甲族二時日宅出稿寺に許て佛式相 クロック といった。

丸山以次 醫應友治郎、兜山定五郎、安藤真太郎、末木騰太郎、森竹一、高襴又五郎、安藤真太郎、宇一川田、淑 美工二月廿三日 男 山 田 淑 夫

皆様ごうぞよろしく

奮つて

高量総なく協議決定とた。 長春町賦地城内および寛城子の融 に逃避脈に黙する會場の影像、 能逃避脈に黙する會場の影像、 では、行列の時間、道順等につき では、行列の時間、道順等につき では、行列の時間、道順等につき では、行列の時間、道順等につき では、行列の時間、道順等につき 商務會 雄篇の應惑を希望します。及歌詞募集の二件は左記の條件を以て公認いたします、發新春元旦の紙上に於て發表した吾社本年の三大事業の中、

文氏は代表を軽ねて窓天に於け 気を怪成したが二十三日総長郷 なが お催さなり 駆焼内に燃で きか お催さなり 駆焼内に燃て全等が お催さなり 駆焼内に燃て全等が お催さなり 駆焼内に燃て全等が お催さなり 駆焼内に燃 大會に合流すべく耐酸が出致した

金

十回、一回一行十五字詰百五十行

件作二百圓

◇題意

人の希望

洲號献金に金二百圓を小崗子署を小崗子料理店組合では二十三日滿

間を呈します 関を呈します

富進作者には三百圓、佳作者には百察するの義務があります、若し視察賞金を以て南支方面を、佳作者は滿

地會社支融人本田海彦氏(五四)は漁般來腦溢血の爲め自宅で頻養中であつたが廿三日午前九時遂に死去とた、葬儀は廿四日午後四時死去とた、葬儀は廿四日午後四時四本顧寺に於て營む由

**飛繍の塗料人五名は顔陶暖系のた** 『ハルピン二十二Ⅱ餐』 稼冲から 支那服を纏ひ

二、自治行政區域以外に分在する。東古人民に對しても加ふるに特別の保障を以てすること
三、新國家各機関内に於ても蒙古人民に對しても加ふるに特別の保障を以てすること に對しても加ふるに特以區域以外に分在する但行砂區の建設

齊々哈爾で 蒙古政治の改善 全省大會 墨比戦も参加と総轄五千の参加者集と谷學校とが休學中にも描らず 民衆が一日も早く實現せられん 鐵鐵縣民四十萬の 示

來る廿六日に

中後一時からを學校生徒遊に多數。 市民参加の下に越國歌な場面とない。 がら 戦國促進運動の大デモを行った。 賦下谷代表講説の後

威運動は影像

昌圖と指題的影地では二 を 後學生なだ。 変配数 を を 変配数 を

一致山 変に対応が 夢加閣體三十餘總人員三階の新國家建設促進大示

生を短頭に避回動を高唱しつ電蛇がに決験変を決定した。 城内共同體育場で開催

一四千街 四番の を新國家促進運動は十九日より元 整内各所に貼られた官僚 存むを利用し東、西職給官談に宗 がる民衆の面には事色に がる民衆の面には事色に がる民衆の面には事色に 神に繋民の期待が大なる。

府前で解散したが混道は幾十萬の 概念で身動きも出來の中に一々宣 をとうな配布して意義深く一大デ

民大會を開催

本実験に於ては去る二十日新國家 を主に、 をでした。 できること、 できる、と、 できる、と、 できる、と、 できる、と、 できる、と、 できる、と、 できる、と、 できる。と、 できる、と、 できる、と、 できる、と、 できる。と、 できる、と、 できる。と、 できる。 できる。

を取職機、存版を選取した、その 無常は常龍城地方の臨時測流通気 一圓紙幣一千七百二十枚、その未 成配三百四十六枚であつたがこの 大阪・変取した。その 大阪・変取した。その 大阪・変取した。その 大阪・変取した。その 大阪・変取した。その 大阪・変取した。その

大河合春の大作●丘 虹二監打ちました!寳館のクリー 虹二監督作品● ンヒット!!

國男

**凄なくして見る能はざる人生悲劇の極致篇はこれ!妻子との別離に泣く測々腸を斷つ父性愛の極致、正に明治の怪盗日蓮小僧が奇しくも愛のもつれに惹かれて** 演春水 麗子・松村 千代田綾子·五味 光夫

五味國枝松林清三郎

開公りよ日四廿 放開錢十二下階

欣然参加 代表會議決議 吉林省城下

加人鼠三萬餘、吉椒未管布の盛況。 後二時より越國大游行を行ったが愛 正午より越國大游行を行ったが愛 

際ピラ五千枚を職がした、更に蘇 に乗客大び各縣以に對して宣 に乗客大び各縣以に對して宣 を ・ 高家政治維新を迎へた蒙古民族の のである、気が ・ 高家政治維新を迎へた蒙古民族の

社会 [長春電話] 珠河の邦人 られ目下その準備に大渉艦を纏めくて本日午後六時頃にならうさ見 五名行方不明 数され行方不明さなつた 速陽で徐機中であつた村井〇團隆 下の船瀬〇隊および山砲隊〇 遼陽から出動

は二十三日午前五時三十分臨時列の名では二十三日午前五時三十分臨時列の名の一日がいる。

七 百 =

哈市から貨車南下

東部線は烏鐵線に集結され

列車不足を來さん

が軍輸送の

避難の途中

◆締切期日 三月十五日

面坡の在留邦人

長者出後は今夕 「一臓物」であった日本版に身をやつして 東支線道東部総方蔵へ出動を記し、操窓である、同窓も力をヘルビン 東支線道東部総方蔵へ出動を記し、操窓である、同窓も力をヘルビン によれば二十二日威吉軍は一蔵皮 東支線道東部総方蔵へ出動を記し、操窓である、同窓も力をヘルビン によれば二十二日威吉軍は一蔵皮 本郷領事館に出験して歌たやつして 本郷領事館に出験して歌たやつして 本郷領事館に出験して歌たやつして その身の上は極寒に急づかはれて、はいよく一を酸せまれるをもつて、はいよく一を酸せまれるをもつて、といづれも支那服な着用してハルビンとの強性とのようなが

◆作曲選者 中山晋平氏 一等二百圓、 西條八十氏 七五調、六句、

選作曲なき場合は中山氏に作曲を依私することになつて居ますには一等五十圓、二等三十圓、三等二十圓の賞金を呈する筈で當追て應募歌詞當選の後には更めて右に對する作曲を募集しこれ

作五名各十圓宛

昭和七年一月

滿蒙維新 行進曲式 ◇題意

五節

を祝福するの歌

◇審査員及方法 追て發表します

日午後六時半逝去した日午後六時半逝去した 三日發 海軍醫務局長軍醫子將小川中將死去 【東京二

件

集 條

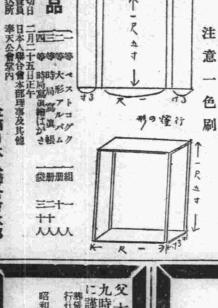
北西の風晴れ一時 天氣路院

各地氣温 热

春間 一五六〇 順間 一五六〇 八九五十一時 午前十一時遼東 下最世 幅

けるの小湾相様(正生) 賞品

三、市、海省 時局高高端はがき帳人の 門9僅行 袋册册組 三十一



全滿日本人聯合會本部 四和七年

本田海彦儀像で病氣の處本日午前離出版は近十四日午後四時途中行列を殴ら西本願寺に於戦離告仕候。一大四日午後四時途中行列を殴ら西本願寺に於戦

行 燈 畫 懸 賞 サービスガール入用 西洋家具店橫二階入口市 場 前 西 通 角 立な歌喜祝福する意いた表せるもの関質の繁榮を表するもの 山電形 量屋 のなれ 候配當には 女

大學書報行可住候

道冊告、式は二十四二午後一時より二時近の間に春二町於前三時永眠致候間此段謹告仕候

一様豫冊病氣中へ處本日午 付以紙上生前辱知諸君に謹告仕部 仕池内 一議療養効無く永 変池内ごうな 地のごう 野內會 隆卓 司三館

六つ七つ、手貸さ死性がこ

は、苦痛に致められ

乾分迷の扉の上で、月の明りにち お逝は、死んでゐるのか生きて

飛動さ方で転換か楽してゐるもの なで、見や飲むはればら滿洲。とは なの感感であるから順事か新しい

「早く親離を見つけろ」

るやうにして、動けながら、時

時れれ

英米獨佛醫科大學病院 卷四大學醫科大學病院 卷四大學醫科大學病院

総給系統確立にあるらしく、一配 総給系統確立にあるらしく、一配 の を が来連するが、要件は新國家

人と同社極東總支配人グルドマンしく解へられてゐる如ち三月五日

職王會例會二十四日午

ちつかせながら、人形のやうに捨む分達の肩の上で、月の明りにち

ら足撃に近づいた一脚の影離、六一満するさのことで、これまた際事さ、この時――街道航の際ふか ネマ戦物取締役の並起政党氏が吹られて行く。 は日本感謝外の感覚である新戦もられて行く。

るが、更に滿蒙新國家建設さ共にるが、更に滿蒙新國家建設と共に

院で死去した、享年四十八、郷像施護郷部主任他内職一氏は急性原統のため二十三日午前三時田養城

高州事態の背景させる怪場か整作 高州事態の背景させる怪場か整作 高州事態の背景させる怪場か整作 大連會館演藝部主任 を開展。整理に活棄か宝・観々さ 本内謙一氏死去 地内謙一氏死去 地内謙一氏死去

H

價高騰・・・・されど田中屋の現金大量仕入は斷然これを抑

へて・・・・獨得の棚さらへ

服・・・・の持越品と大見切品の全部を繰げて棚さらへ大處分

舊冬の底値より更に半値の堀出しものを澤山・

H

よ

V

田

中

屋多物棚

2

5

が

\$

わ

りま

した

超

待

5

兼

ね

0

満蒙へ

林腐と小便檢查

巨星惑星が相次い

で

三月中に來滿の豫定

内地映画界の満洲進出が必然的に を聞きれるものさ見られてるたさ を聞きれるものさ見られてるたさ

に大蓮寺に於て執行する、なほ氏

惑星が相次いで来連するら

さし子の脳父である

-の人気者

合請

変之丞は前のめりに、離れるか にあっ」 概然と家鳴りた生 では、 一の六兵衛に、後から追び附いた乾 での六兵衛に、後から追び附いた乾 での六兵衛に、後から追び附いた乾 **ル借して、山崎街道か京の** 親分、しつかりしておくんなせ

六兵衛は、斬られた右手をだら 萬国な接じて神奈地駅の富士塚に ある株式の土地にスタヂオな趣談 するさ言ふが三月中旬より工事に するさ言ふが三月中旬より工事に 日本映畵界が

これをこれを行う かった 兵衛 見るく〜血飛沫を上げて、倒い見るく〜血飛沫を上げて、倒い 兵衛、戦撃・生

「お蓮ツ」 「お蓮ツ」 な疾病 身に傷つてくる、焼きつくやう源之丞は血刃を枝に立ち上つた もう四後に、誰も居ないさ見え りで庭れ抜け出する、乾分れたころへながら、定まられたころへながら、定まら

土織式による富士養繁映画株式會 事務所に於て百五十萬風の株式を 事集中のこころ能々満株さなつた 愈よ設立さる

の初めにはスタデオな完成するさい。 「これでは解除監督等も熟版な置き銀月 では解除監督等も熟版な置き銀月 四本位な製作する意象込である。」 富國キネマ俳優陣

(可認物便郵種三第)

京洛の春(子三)

度嗣子さ縦門光三郎な中心に獨立 たから水原洋一、英羊子、正邦乙 を、岡田売子の面々

南京虫、

3

八畜無害の

しらみ撃滅は

イマツ蠅取粉に限る

本舖 今津化學研究所大阪大任本町三

大歩行くこ、がつくりと膝をつい くばつたり行き合つた。

羅紗

小

倉厚司

山本洋行

醫學博士

入院室閑靜 澁谷創榮

科醫院

X 米 線 完 備

早齒

日曜土日曜金日曜木 間日三りよ日五世

品供提 子子毛メ

ですから から おろ用でして非常にお徳用でこさいます) 学生用靴下、防蟲袋、子供スエター、子供靴下、好機下、

圓

圓

玉 圓

羽子オ靴 根供一 蒲毛バ 團布!下 ガゼー 寝衣 別 ルマタ

供信子、場合の 端の空が割ア シ が ー、ワイシャッシ が イ、リ ポ ン ヨール か か か コール 連大

浪 3.0

〈賣出し準備の爲二月二十四日夜間休業▼

超スピード ねつとうつうす な谐

謝恩奉仕 御 本 圓二 銘 おた IJ 圓·三 圓·五 仙仙 五 圓 み福箱發賣 高 圓 値

巾召場 本 ネ セ ルル地 + 半錢錢圓 掘 20 豊 下 0

三郎さ五。園枝が主流してゐる丘虹二監督作品《廿四日から資、 題の道に入つた愛恋のもつれた描いた河合映画現代劇で松林を通った道:師日準小僧古之助が淫客なおなみに迷って妻子な捨の明治の街盗 日路収後の好祝時代に京濱を中心さして元

をないまった物とい様子に離れ立つて に歩きった物とい様子に恐れをな に歩きった物とい様子に恐れをな

への策動でないかと課態される

もある▲といふのは滿家新興家理 を解説者為一郎氏がこの程家連 を解説者為一郎氏がこの程家連 を解説者為一郎氏がこの程家連 を解説者為一郎氏がこの程家連 種であった全支那

二 七本来のり、有日音な楽製 関一ばい編集八日分四円・三円

=全滿寫賣所= グ専賣所 グ専以所

富

下ででは、日本の一個五十三銭を割って、一人後より中旬一個五十三銭を割って、日本の一個五十三銭を割って、日本の一個七世の一の五十三銭を割って、「おいった」といった。

を用共前年に地し五額以上の減速 を耐寒緩止の結果による鐵管路 を動脈緩止の結果による鐵管路 でしたが本年一月に入りて以來 ではか清州事題常安定した關係で

上直山北其關閩 計海方 面線東滿南州島

朝鮮產苹果

豆油

ら油房筋の操業充分

大く金剛下落大洋騰貴さなりたるもの歌野、「大会側下落せざる結果、市民の歌野」

賣 黙は懲賊だも甚だし

降 下旬央五二銭見常さ

米二十六日以承は全然無取引版の衝突勃發し地が治安配れたる

日

るが三井、三変、ワッサルド、経済を引下げ四五経に當さなり

月中の狀況

哈市金融界

滿鐵貯炭激增

北浦の需要期待

総納さなりて概れ無為に經過した 昨年の

市場電報

前 納 納 納 納 糸

会現

時時時時

金

本第二回 高明 第二回 高明 第二回 高明 (二十三日) (二十三日) (三十三日) (三十三日) (三十三日) (三十三十三日) (三十三十三日) (三十三十三日) (三十三日) ( 豆州八分里 三 50分0

東京期米 限 150~ 1513 限 150~ 1513

文 등 보통적 스 **39** 명 실장 [ ] 병통병 [ 0

御薬船切符發賣所

大連伊勢町家內所

地場が、建新四十銭安に引けた、大流の東新はボンギリに寄りアト教期の東新はボンギリに寄りアト教期の東新はボンギリに寄りアト教期の東新はボンギリに寄りアト教期の東新はボンギリに寄りアト教期の東新はボンギリに寄りアト教制の東京は一個大社会安、東京は一個大社会安、東京短

●横濱直行

大阪期米

大

内地ボンヤ

銀金

地

市

況

天津行

定

五 に地と戦に四額五分流の大震年地二十銭除の 人別に流せば次の処と 人別に流せば次の処と 「世上戦に四額五分流の大震症で 人別に流せば次の処と 「世上戦症」 服商狀 市

◇定期前 脱商狀にて一般

· 至克里克 

大されています。 ・大されています。 ・大されています。 ・大されています。 ・大されています。 ・大されていまり。 ・大されたでは、 ・大されたでは ▲東短前場 本大阪共物 本大阪共物 

三十二個七十錢 六十一圓三十錢 保合) 物実期定式糕债公

五日迄上映

定 株式 ◆ 代行株 式 · 出

出來高(北南二七九)

高(廿二日)

三羊商行へ

作原氏伸川谷長

きま

だら

んな

7

■五四三三◆八一七三電五四町鳥敷車大

満 鐵 株 川辺 ・ で 高線社員 ・ 情様の 株屋

大連 穀粕梁豆 頭

二五七八車車車車 

大阪商船株式大連支店大阪商船株式大連支店 東網荷拔所(大連山縣通) 東網荷拔所(大連山縣通) 東網荷拔所(大連山縣通)

一社・六二八

目阿波共同

汽船

沾

天津行 回朝鲜郵船澎帆

力を注ぎたい 見本市 内地出品者側と打合せに 17 は

中村輸組理事內地

(四)

満洲

うしさ豐るでの見 をこよれず、全組合職務・一十六ケ所の輸入組合職合 人連外十六ケ所

聯合會調

東京株式

**印度麻袋** 電機 三電比でつ

况年三世

**◇定期前場**〈單位♥♥〉

八八三三四四 六七八五五六八限

| 元記 | 元式

回收高は信用百十六萬九千百四十二千百七十六國三十二錢に難し、 萬二千九百 を主演 た四次と 四次 (元十年) (元十年 (一人へ002) (人へ003) (10人も030) (人へ003) (10人も030) (人へ003) (10人も030) (人へ003)

これな前月に比すれば儋川五萬六六銭、諸三百二十萬七千四百五十 撒保十三萬七千三百三十一國二十 一十六百七十國三十五錢、款月緣越 「龍用三百七萬百二十一國四十六錢 「龍用三百七萬百二十一國四十六錢」 

一旦 大きなのはいません。ころで戦地から輸出をへの金剛の主要を対して行れれる、このシュロフを主要地の問題との間の管質の仲で、中には戦地土人をの金銀環間による。ころで戦地から輸出をへの金属では、シュロフの たいまする小規模の金融が取扱っていません。 に基いてシニロフはその底質をし場を奥地の本店へ電報する、これ

「順心シュロ

フの賣買仲次ぎ

様では一般に最近分析は東がかてこんである。 では行かねが之等に黙しては分 ので純分のが比は直打つさ云ふ

の貨物發送高

電の貨物数送製量は左の如く

额受额形計

七四、六〇〇〇枚 五、〇五〇枚 五、〇五〇枚 五、〇二五回枚 三、二七〇枚

震主郎五榮上尾

● 流

秋スリー

進曲

廖

を申上可、須ての版 像を整へて倒待ち中 で、須ての版

輸出される迄

**谷組合別に見れば** 

大組織

百五五景分

右期間中

は舊正を含んであるた

100五八〇

麻袋續騰

綿

糸區

K

と一○、九九六郎の減少なぶらため昨年同期の四○、九四六萬に比

が期待した大概に難したが

・観選響の結果

五五三五〇三五〇

三〇九〇 四 〇 七八〇 奥地の本店へ電報する、これで学人を置いてゐるがれたく一代理人を置いてゐるが

心膨脹政策に 銀行救濟に關する 緊急命にヒ大統領署名 シュロフの儲けになるのである。 かう云ふ風にし

世である。

「ペルリン二十二日会」大統領と | 木林窓右に多大な衝動を興へ見満 でな負擔す可き事を規定したもの | 議中であつたが、木林に関する緊急をに署名した | 業者、全海木林(職職合會等は膨々 人は | 大統領に | 大統領に | 戦総機、 | 大統領に | 釜山の二丁場(心二酸) は、では、できない。 は、では、できなが、これは組織の低だかる。 実践であるが、これは組織の低だかる。 実践であるが、これは組織の低だかる。 実践でシュロフが質がける際には、被等は例の試金程と云ふものが多い。 は、被等は例の試金程と云ふものが多い。 は、被等は例の試金程と云ふものが多い。 は、被等は例の試金程と云ふものが多い。 でれは同州の総作地が洪水被害な家とれは同州の総作地が洪水被害ない、これがらの出趣りが最も多い、これがいるのであるが、現してはマドラ

◆・理様に管理して終へばそれでためらかしかしなくなく様へはそれでお仕舞いさなるのが順序である。 るのが順序である。 るのが順序である。

上海事物の成行外便を監覧の目 ・一覧の全後は悪下の大間違たる ・一覧の全後は悪下の大間違たる

一十一日迄、元山の木林繁林所は 

俄然活況を呈す

地が別質易織左の如し

び番號を敷取する。そしてロンド ◆・・上海事態は画際純紅を極度に ・・大事性の感に流つる既がある。 こて職機に流つる既がある。 こて職機に流つる既がある。 これが長引くか或は でならうしこれが長引くか或は でならうしこれが長引くか或は でならうしこれが長引くか或は でならうしていが長引くか或は でならうしていが長引くか。

310.614.2 275.676.5

3.0297 325,658.7 275,676.5 7.010.0 2.828.7 1,498,9 2,040,8

出來高 期近 16.824.6 42.557.0 4.258.4 6.081.4 1.080.9 4,223.2 2.064.7 麥蕎芝大小蘇 1.071.0 1.641.2 52.2 208.4 麻子 184.0 258.9 0.60 876.3 4.560.1 子 2,581.3 8,501.9 9.322.0 生

1.662.9 2,358,2 数 3,593,4 28,261.2 571.8 1.600.0 粕 240.9 骨油 260.1 3,203,9 2.437.0 9.841.8 粉 耐 1.048.0

567.3 5.365.5

落雜 雜駅豆 其他ノ油類 麥燒 理科西蘭佛

要目

一行經、有機煙

鑄銅、餘城並具餘鑄物

酸製

1.124.4 否

大連機械

製作所



常

[鐵 橋 飯 析、

鐵骨家屋豆油容器、矮些類本 店 大連市

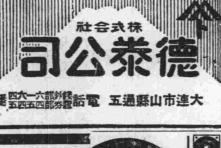
海馬替情如



銘柄 約定期 値 段 四 七月限 一五六二 一 同 一 一 一 五 一 八 五 一 一 五 六 二 一 同 一 二 一 一 五 七 一 一 五 七 一 一 五 七 一 一 五 七 一







本高 七五四三約 五四三約 三月月月限 三萬

萬四二二二二值 平六四五六 枚四二二二八 枚四



モロッコ 900000 9969900 00000000 好」さ名世 一日三年春 ロー日は公開 でイトリッヒの イーター・クーバーク

平和な闘す悪人を對手さして! 上映一經特作品 映 海 魔

渝

國

割引好ら有効り 10 姉

●廿三日夜間 ヒルは〇時半頃 ヒルは一日豊夜

拶挨の優俳活日 津瀬 行愛恒

銭 新り、男子生演 ・新り、男子生演 ・新り、男子生演 ・新り、男子生演 ・新り、男子生演 ・新り、男子生演 蜘蛛 放開

一日公開

● 芝罘威海 (第十六 二月廿五日 東船切符繁電所(大連中勢町) ジャパルー・五〇一 電量六八九一・五〇一 電面 (大連市山縣町) の番地 大連市山縣町 (大連市山縣町) の番地 大連市山縣町 (大連市山) 大連市山縣町 (大連市山) (大連市山縣町) (大連市山) (大連市

東 級 所 九 一 商 會 東屬客衛 九 一 商 會 東屬客衛 克部通音 妻 橋 一 市 會 會 東屬客衛 克尔克斯 五八八八

日本或會社大連代理店 新客業務代理店 所屬鮮郵船株式會社大連代理店 一般客業務代理店

●世川。長崎(錦江丸 二月廿七日 ●世川。長崎(錦江丸 二月廿七日 毎鹿兒島行 (錦江丸 二月廿七日 毎鹿兒島行 (錦江丸 二月廿七日 は貨物受産發行 (錦江丸 二月廿七日 大路岡路下海岡州1時は天候其他の 水路岡路下海岡川1時は天候其他の 水路岡路下海岡上取資所 キニーナード汽泊会社 キニーナード汽泊会社

三 近海野

(日曜水)

0

大場鎭の戰ひ意の の戦闘 如くならねば

待機 我軍出動か

期の如く進捗と一方第十九路軍以外の戦線参加

ば糖語機關さして派遣軍司令部の必要供じそれには軍事委職官変刈隆大粋が低齢されるのではないかの攻撃の結果が蒸籃り増兵か否かの関機さなるものさして住職してゐる、確して増兵することになれける敵陣地は極めて堅固なるのみならす支那側は同が敵に蘇く城兵しつゝあるのでこれに對する我軍も3 敵陣地は極めて堅固なるのみならす支那側は同が敵に蘇く城兵しつゝあるのでこれに對する我軍も3 電前の問題として息極化してゐない、然のみならす横田○隊長し現在の兵力で敵を殲滅すべき決念も現實の問題として具極化してゐない、然のみならす横田○隊長し現在の兵力で敵を殲滅すべき決念

### 闸北戰線 突如總攻撃や開始 依然猛烈に砲弾を浴す

離職な螺撃しつ、あるが酸の破霧依然飲まず子供戴名軍隊を買つた、なほ戯の爆夷環により三ヶ所に邦人海、難者六往左往し虹ロの一帶混亂に陷つた、これがため海軍機C離出號落下し午後一時頃迄に敵彈四十餘發を算し何れも猛烈な炸裂をなし追撃砲、燒夷彈旺んに北四川路吳 路下浦路一帶の邦人居住地區に追撃砲、齊夷彈旺んに北四川路吳 路下浦路一帶の邦人居住地區に

## 蔣介石を總司令に 抗日軍の部署決る

幹とするものであつて同部隊は殆んご全滅に瀕しつゝある中である、敗逃せる敵は京衛軍(蔣介石軍)八十八師の六十四團を基は今朝六時四十分廟行鎮の敵陣地を奪取し大場鎮に向ひ猛烈に進撃【上海廿二日發】二十二日午後四時發陸軍省着=煎田○團の○翼部隊

長張治中、第三路軍長を連仲、第四路軍長菜浪英總司合蔣介石、前敵總指揮『玉祥、第一路軍長蔡廷楷、第二路軍上海二十四段』支那艦艦によれば統日軍の影響だのごごと

とするも

であ

酒に軍軍人 動に、 の が 兵 酒に の が 兵 活に よ

に偉大な

本る成職に献く選却を際 會社銀行等に執称し轄政な勢働に 東北る成職に献く選却を際 會社銀行等に執称し轄政な勢働に 大事態突發以來警備 役に用ふるチゲを背負の十鎖目の 電で、大事態突發以來警備 役に用ふるチゲを背負の十鎖目の 電で、大事態突發以來警備 役に用ふるチゲを背負の十鎖目の 電で、大事態突發以來警備 役に用ふるチゲを背負の十鎖目の 電で、大事態突發以來警備 役に用ふるチゲを背負の十鎖目の 電で、大事態突發以來警備 役に用ふるチゲを背負の十鎖目の 電で、大事態突發以來警備 役に用ふるチゲを背負の十鎖目の 電で、大事態突破の離兵 心には一般に あるいと は、下元の職長 からに できるがとりわけ最後 ちからに 減ぐましい、下元の職長 からに できるがとりわけ最後 ちからに 減ぐましい、下元の職長 をけてるるがさりわけ最後 ちからに 減ぐましい、下元の職長 とりない は、一般に対している。

八場鎭火災

信察に依れば敵は同地の線で我軍を阻止せん 起し午後六時尚は盛ん 場鎮は本日正午火災を

見事鹿を射止 満洲關係の初當選者。

連目の御絵

情義の人

小林絹治氏

當選者訂正

が強く使命を實行

政友會壓倒的多數を制すに至り

を窺ふ

白系軍我領土

犬養首相から聲明

雄辯能筆で

奏亦らけふ二十二日群聚の結果一 音公談候補さして立候補した大連 役所の同氏後援會事務所 御後援の



十七百

=

千九第

縁起のよい帶のゆめ』

仙波久良氏當選を喜ぶ留守宅 東晴らしい臓やかさだ、夫人は記 を晴らしい臓やかさだ、夫人は記 がながれなく、強し

前途洋々の 少壯鬪士

平島敏夫氏

二四六六三內田信也政前 第一區(水馬馬)

第一區解本、聽託、压名

政黨の敗因は

與黨の投票買收ご彈壓

(モスクワニ十二日参)明日の赤 衛軍組織十四年記念日に際も軍事 督促 學良に擧兵を

### 聯盟特 委員會組 別總會

農ロシア等の非職盟國も亦招請さ 米、露り招請されん 十六條適用要求 れることになるかも知れない

おいては先づ日支融画代表を主役日より開會される職盟特別總會に日より開會される職盟特別總會に

の詩語は簡単に渡み谷園より谷一とする一般詩語が行はれるが、こ

聯盟側取扱ひに苦心 就さして

閘北の敵軍猛射 八居留地區を

線や突破

我空軍一爆擊開始

前原○團全滅を賭し

て

わが軍盛んに應戦 地 に向け破難を謝がし我軍は日極を火 分開北の敵治撃神で我が〇〇陣地 敵彈盛んに

より我が空軍は難陣地上空に飛鍬と朦鸚を開始した。 『上海二十二日餐』今朝開始の全線に取る機攻轄は養々奏亦し午前十一時最前線は大場鐶を去る三キ

軍續々進撃す

下元〇酸この酸粉 ド元〇酸この酸粉

租界に落つ 外國艦附近に

り猛烈に遊戯し○順はこれと微戦中である小野○戦の○○○隊の一部は前慰○際と下元○歐な監察と上海二十二日登』的羊銀前隊の天主童に據る敵は大場銀に迫りつゝある下元○歐の石製及び前瞰よ果敢宅が畝に向け更に逃撃を續けてゐる「上海二十二日登」敵の第一線を突破した第○○○隊、○○兩○隊は下元○歐の○敷と聴撃すべく問機構送のため午後五時西北線に向つた

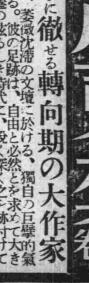
せる為め午後三時白羊織に急行した

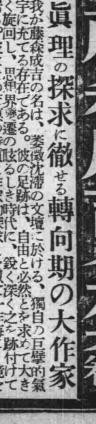
頗る巧妙な

が義勇軍

第一線で活躍

決死の覺悟で砲彈運び







有島武郎全集 第1卷 啄木 全集 年 有島 武郎 全集 第

平 年 春 春 工工

は二十一日本部下さ共に江南総西 は二十一日本部下さ共に江南総西 北方を進撃中名器の戦死を遂げた 名譽の戦死

最新刊

定價五十錢

安部磯雄

八類愛の戰士が語る

松尾孝之氏 堺 利彦傳

海舟山路東山著 激光10 漱石の思ひ出 類鏡

切 利彦著 復一九〇

松尾著之(中立)氏は二十二日政松尾著之(中立)氏は二十二日政 落選で一悶着 政友に入黨 志賀直哉著紙 志賀直哉著矢

英米代表の軍縮會議乘込み (ペリタ) 極いにおける日

大戸航季 肯氏なめぐつて委員會の

日

然らば何が新かる 解身 と したか。 民政監測を して云ば したか。 民政監測を して云ば したか。 民政監測を して云ば し

勝利の大

說

理由は明白 平沙の有無 今回の想選舉に於て、政友會 今回の想選舉に於て、政友會 が勝な石むべきは、世人の多く によりて豫組せられたる所であ るが、其の勝利が斯くも太勝に

### 石主制論を覆 共和制俄か 滿蒙新國家の國體形態に 廿二日東北行政委員會で論議 闘し

るに至つた【奉天電話】

「出一日午後一時から東北法學研究會で開催された東北行政委員會においては溥儀氏の舊臣鄭孝胥氏を特に招聘した、滿蒙新國家の建設に關する最も根本的重要問題たる國體問題について論議が行はれた。以下、首任鄭孝胥氏を特に招聘した、滿蒙新國家の建設に開する最も根本的重要問題たる國體問題について論議が行はれた。以下、首任鄭孝胥氏を特に招聘した、滿蒙新國家の建設に対して、「一日午後一時から東北法學研究會で開催された東北行政委員會 『溥儀氏 擁立

## 天命に背き人理に悖る』 共和制論に至る迄

おきに探聴されて残した前流戦の内 はテンポなりて戦換するに至った か?廿二日午後一時から東北法學 で開かれた東北行政委員會 の さらて東北三千萬民衆のため一意 駅心秘心なく我然なく神滅以て全 た 日の機運を醸成した事實を力談し た、め郷孝髯一派の君主郷派はこ の理論闘争に

滿蒙新國家

大同共和國

もつども有力

るに立ち至つたもので、書類人は で 製品の意義 質に堪へさる処き臓物5にて概念に就き山陽長官は処何に 二千萬民衆は 滿蒙新政權を謳歌せん 山岡関東長官東京で語る

に慶賀に堪へざるさころである 窓に新政権の確立を見たるは威 歴家三千萬民衆の融合に依つて

首都の新市街

て質に立派なる人々である、三あつて其絆臓、抱負、識見に於ある第一流の政治家であって其絆臓、抱負、識見に於

李花屯に建設

谷、道勝 金安局、元 金安局、元 銀近

豫算審議

0

市参事會

廿三日も續開

定した、これが既後能決権立即航星校の十三家屋衛連、松倉監、衛立第二十二家屋

を を 超波棋氏は 無長官な で二十一日午後六時養

糸軟弱

二年後には完成豫定

經濟調查委員會

本據を満鐵料に 更に調査員十五名を任命 で、たり大機本月中に調査項目の整で完了する像定であるさ、右に ものこの解釋から來たものこの解釋から來たも 

仕眠當り仕館

候り演

に部

村以紙上生前唇知諸君に謹告主任池内謙一儀療養効無~永

町

野內會

出來高 二百六十個 銀統三月限 二八七 銀統三月限 二八七 一二九〇 一二九〇 一二九〇

時ドーォフイナ

社会計時ドーオフイナ西珠

を離れることは不便が勢く、また は資料等の關係から大連滿線本社

何分 事務所が狭いので止は罰る

を表にある事務所は狭隘のため多 がでいる事務所は狭隘のため多

職女ペンダーソン氏に提出 案に黙しフランスの立場より添一 を終り、二十五日より答園 出した平等地変にあく節感修軍機 ではなって答園代表の一日ドイツ代表ナドルエー大使が提 を終り、二十五日より答園 出した平等地変にありまる十八 に対することとなった、フランス を終り、二十五日より答園 出した平等地変にありまる十八 に対することとなった、フランス を終り、二十五日より答園 出した平等地変にありまる十八 に対するというでは、アランス を終り、二十五日より答園 出した平等地変にありまる十八 に対することとなった、フランス というでは、アランス というない というでは、アランス というない というでは、アランス というでは、アランス というない というでは、アランス というでは、アランス というでは、アランス というでは、アランス というでは、アランス というでは、アランス というでは、アランス というでは、 愈よ二十五日から を開始

芸芸芸

一辺病院

七八、〇〇

性病科

九時五十分死去致候間此段生前原知識に謹告仕候に謹告仕候 のよ致候間此段生前原知識行所を認っている。

友親

大連、沙河口、水融子等の名支那から大連へ語音の役員に二十二日午前十時から大連公語會に凝集し趣画促進を経べれたは生骸があった、大連公語會を提びなり、大連公語會を接近ななり、大連公語會を接近ななり、大連公語會を接近ななり、大連公語會を接近ななり、大連公話をなり、大震運動をなり、大震運動をなり、大震運動をなり、大震運動をなり、大震運動をなり、大震運動をなり、大震運動をなり、大震運動を表現という。 建國促進運動 大連聯合協議會

能の期日その他し決定す

る響であ

◆同胞たち

\*\*天における事性ないよ、しかし時機は来た

地でいきである。地でいきは、大学の新楽土建陸地域に緩加速

はこの新樂土の建設である。いけ、死より生へ導くべきもの明へ、死より生へ導くべきもの

のであるが本年の警察する。 を起こ政府要人の家屋を整ってには長いた。 をでは、政府要人の家屋を整って前 をでは、政府要人の家屋を整って前 をでし、政府要人の家屋を整って前 では、これが総言・表にで に要ばれ土・建設に、これが総言・表に に要ばれ土・建設に、これが総言・表に に要ばれ土・建設に、本替令の活況。 に要ばれ土・建設に、本替令の活況。

いよく、 課に入ったが之れは原案通り同 意さなり 意さなり

類期同生

春

すらさは陽川

一年の間に、わか白衣同胞三

中等に享有してるるのだ 上語の輝盛にして、人類 と語の輝盛にして、人類

窓に満蒙園家建設のために必死に (本) に登つた。この結果三千萬民衆 の所肺の徐潔の姫と職役自治共和 の所肺の徐潔の姫と職役自治共和 でしていてある『奉天電話』 部學校班講演 奉天自治指導 三月 建國式遅れ 重要案件の計

大自治指導部の関東州内學校班を天自治指導部の関東州内學校班

自由國際生の盟國式を來る三月一ため今後東北行政委員會では疑かしき演家ためにそ

上旬になるものと象標を製造を製作では勝ん然ぐもの影響の製化では勝ん然ぐも

排日

旬さ見られてゐる『長春

外人の憤慨

議阻まれ

十三日は大連土佐町、沙沁口、間水はそ、二十四日は伏見町、秋月町、秋月町の谷公學堂において譲渡を 十三日は大連土佐町、沙河口、周、一時間宛の齢減を行ったが延に二一時間宛の齢減を行ったが延に二 三校等においてそれと「講演會を州の農業學堂、公學堂、普通學校 者主に標立せんと策響する人々の一れてある『新君主に標立せんと策響する人々の一れてある『新春主に標立せんと策響する人々の一れてある『新春主に標立せんと策響する人々の一れてある『新春主に標立せんと策響する人々の一れてある『新春主に標立せんと策響する人々の一れてある『新春主に標立せんと歌音を表する。 全力を盡して

省民の福利

の中に置けないものことで振落としては一般外人性間に続ても純土とては一般外人性間に続ても純土

後二時から資料した

なほ一十三日

で、『ハルピン特體二十二日報』和倫 自宅に入り体部の後二十三日午前 自宅に入り体部の後二十三日午前 中時ハルピン養臨時弾車でチチハルに向ひ同日チチハルに於て省長 財田式か興行する事となつたが氏 は融る

來哈の馬占山氏語る は日本の國際に野する一種の挑戦 は日本の國際に野する一種の挑戦 がたきものである彼の行為を知る がたきものである彼の行為を知る る文句を連りて我最姿に野に極端、イクリーレビウに於て職劣野やなてゐるが出る二月六日チャイナウ

五十五分教長春に赴いた『奉天話』を天の日程か終へ二十三日観六時

紫天の日曜な参へ二十三日観六時 で歌楽中の坂西中野、祝藤子殿は で歌楽中の坂西中野、祝藤子殿は

はてかれた。 を対し、 を表する。 ははなんさにに、 を表する。 ははなんさに、 を表する。 ははなんさに、 を表する。 はなんさに、 を表する。 をまする。 をまずる。 をする。 をもずる。 をもをもずる。 をもずる。 をもをもな。 をもをもな。 をもをもな。 をもをもな。 をもをもな

麻炎續落 14110

\*

五〇八〇

◆現物後場《銀並》 ◆現物後場《銀並》 ◆現物後場《銀並》 等通(炎込五一九〇五一二 大豆(裸物五〇八〇五〇五 一二十車 出來高二中 出來高二中 出來高二中 出來高二中 出來高二中 出來高二中 出來高二中 出來高二中 出來高二十三 出來高一七〇 出來高一七〇 出來高一七〇 日本高一千五百箱 出來高一千五百箱

二二二 後揚引 九三四 九三四 二五二〇〇二四六〇

文池内謙一儀豫而病氣中の處本日午前三時永眠致候間此段謹告仕候前三時永眠致候間此段謹告仕候 

申審締 込武切 所員日 本人聯合會本部

賞品 秦日二 天本月四三二-ス会會室内 一等等は 一等時局寫。 本人聯合會本部理事及其他 本人聯合會本部理事及其他 色 袋册册粗 三十一 ++ MM

五五五二二四四後 八五五二二八四一引 〇〇〇〇〇〇〇

個

热

銀高で

十、衛生費二十七萬六千七十個は銀馬線の全日八十國の換算に依銀馬線の全日八十國の換算に依銀馬線の全日八十國の換算に依銀馬線の全日八十國の換算に依銀馬線の全日八十國の換算に依銀馬線の全日本の金田の一大一大 共に原案同意さなりい公覧側の 設照管理費四千六百四十 

行繁新建 

口口

不一四三一四四五三二八 五三三一八 申〇〇八〇五

六八三〇

內地當市共

株

寄安引聢り

純血タ

鲜

४९

Ę

女の今西が生に歡遊していたときましたからたこりなが、なってもとことでせる。幼い人盞をお歌にしたお鄧が料理を大連懶生高鰡れてゐることでせる。幼い人盞をお歌にしたお鄧が料理を大連懶生高

お淸汁・お刺身・燒物替リ

小井・口取り

お節句料理

# 神に選ば

使徒の歓びを持つ!

彼の女たちだつて人間です

一般語「野戦」をやるあの数

して髪の土管はざに懺悔に燃えてった生質の仕事はさうしただつぼいが世には心ゆきです。さいつて決

の女士官 ですから、……でも大連の数世軍に、こうのこ名の質勝さに、こうのこ名の質勝されから、或は単金に別の土官な観色なから

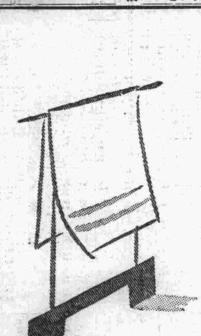
ジの羽織、ひつつめの東髪さい

がマス』れば安全自宅療法書が ・ 本学での廣告切技新聞名記

よるべのない孤泉、か、り子に先 立たれたおばあさん、炭癬者の夫 に捨てられた子もちの妖。さうし に捨てられた子もちの妖。さうし た鞭鱗な人たちを駆めて職を父と た鞭鱗な人たちを駆めて職を父と で敷人の妖士質だちは母さなり婦 るのです、粗米な木織の程にあたつてる るのです、粗米な木織の程にあたつてる ことなって一切の世話にあたつてる。 | 反野なふり切つて士官學校にさび | 一般に捧げやうさ決心し親や親戚の | 一般に捧げやうさ決心し親や親戚の | を表していないのないない。

「一ち触に続けたこの身體を感してゐます 城のため働くこさ、それが低よ出来ませう、触のため、兄弟姉 つしい生活のうちに彼女等は呼吸れ続のおふさんさ――さうしたま

けにはいりません、この社會に対象のことばかり考へてゐるわっ 混じつて生きてゐる以上すいぶ はじって生きてゐる以上すいぶ 時にせたまへ」さ祝つて神の力を叩ぐのです」



阪大•會商瀬長 舖本鹼石王花•京東

日

ウ エー ブ にみる時代相 新しい三二年型の洋髪

る遊がしらのやうに、一般二般三般ミカールしたアイロンの技巧だけによる新らしい三二年塾の洋髪大洋の波のやうな大きなウェーアの趣伏を耳のあたりから後へかけて三四本見せて、毛焼も減くづれみです、ウェーブすなはち波です、その波もこのごろの波は櫛鑢鮎のやうなさら波がやありません、ウェーブのない東髪なんて洋髪の部蝋に入りません、ここほご左纏にウェーブの重んどられるこのごクェーブのない東髪なんて洋髪の部蝋に入りません、ここほご左纏にウェーブの重んどられるこのご

スコ

ルチク

ハダサ

ルタイチャ

クオッイ

ポポサ

豐國洋行軍手部

マテッ テゲ

タイ

ち

・身を買って一口 ・身を買って一口 ・身を買って一口 の自身の魚を買って三枚におろって結構です、鮮ハウオー よろういら自宅でお作りにな 手郷真瀬=これは情身をかつて であります、水にさつて

葉を添へ美いこい清汁をかけて 青海苔少々、大根三寸、海苔二材料=まぐろ一栅、烏賊二尾、 身 へまぐろこ鳥賊の菱作

パセリー松を添へて侑めますお風に盛つてレモン輪切一切

ギリ オクッタ アッ ヒカ

0 V トカラレ マウ

、どんな人でも熱い湯は絶對

こしても是非御研究がを要せずしてもので絶勤ウツを要せずしてもので絶勤ウツを要せずして

て浸つて五六回深呼吸をし2、疲れた時はぬるい湯に頸ま に避けませう。

學博士學佐大治郎先生日大阪市立刀根由劉龍

るマツサージして下さい。 場上りは乾いたタオルで輕 たら純良な石鹼で垢や汚れ を洗ひ落しませう。

略血。吐血·下血



いつも花王石鹼をお

健康のた

病院常備爽

子達を主賓 1 家

方法 鮃は一尾三百匁位の大きいものな三枚にして皮なさつて →材料=鮮五切、白水二 本材料=竹の子一本、は 見分、日本恵三四本、 十多、ほうれん草一

変なすさ他の色が悪くなります。かかった砂原油中で場けます、 す、別に乾いた井鉾に玉子の白 も落ちない程度にかたい泡雪を味を二つこり泡立器で遊にして ら其足を利用いたします。薄いら其足を利用いたしますかに続けて水氣を切つて置きます 意も二三分の新切にしてがでだ。 いかされて縦に細かっ て熱湯でさ

り漬けて置きます、以上の三つり漬けて置きないと一分位の小日りとつて被除にと一分位の小日できないとしては時に二時間ばかけるとしては時に二時間ばかけるがある。

ロ取り

で十五分ばかり蒸します取出して十五分ばかり蒸します取出した。 て直徳一式位に候歌したまくなが様でもかけます。かたくしばつたをつけます。かたくしばつたかけます。かたくしばつたかけます。かたといいでは、 出して組板上で冷した

責任附

製造發賣元 平 潮 鐵 工 所 大阪市港區三軒家市協安看所東 電影機川四一九二番

(竹の子、

烏賊、葱の

方法 錦玉子

と草一塞、酢砂糖 三四本、白 k噌三

酸"る"王·利 石鹼を吟味して使ふ方はお肌を大切になさる方はお肌を大切になさる方は 皮膚美の爲め、

6327

貧· 血·

劑錠用服內

純粹度九九、四%

劑血止全安力強

せ 倒 歴 を 品 入 輸出 抽 臓 脾 及 臓 肺 る一體 

刺戟して血液の補給

菱 悪 性 貧

及び比観を働めた、蒙怪進運頭委 擦な手に際位な整 (道は人域をつくり新國家建設の水 し午前十一時より繁進し人域をつくり新國家建設の水 し午前十一時より繁

御か行進索 盛況

營口のデモ

教家の立場から社界事業家は共立の第一歩は概念が大きな大に会合と無土地設に入つてゐるが州外薬質師の入つてゐるが州外薬質師の報土地設に

家は教育家の立場から宗教家は宗を覚際峰の樂観たらしめんと教育

を表したので同部下が不穏の冷動に に一液 あるやも計り難しさ大花極密系数 計伐引 あり通報に接したるを以てを派出 遇し頭 がの腰蓋室南がく頭に総位を派 ので はのではないない。 のではない。 がのを、 がのに、 がので、 がで、 がので、 のでで、 のでで、 のでで、

討伐司令王殿忠の黎ゆる一

安東の火事

【獨口】 您口商務總會長空序問

署訪問帰順の誠意を披漉

各經濟團體代表者出席し

二十一日長春で開催 歌館より順選の館派館より順選の館派 の眞綿

雷でないから概次根 は期後潮である、保 は期後潮である、保 があって無難があっ は期後潮である、保 を通過したが、管地

**『鞍山』海城以下十一名た逮捕折一名を逮捕折り** 

ハルビンの映畵館

軍人半額を申出っ

だの輸入融で野華商取引形況終がの輸入酸で野華商取引形況終

地の在荷が豊富

ロシャ人の對日好感

百個の火災保敵が降出機能に免するが多分火元のを受け、又二階に日機能に免するでした。

力體力

整際級では本日より三日間臨時総 にこれを受けたが一般市民もこの なこれを受けたが一般市民もこの が、はこれを受けたが一般市民もこの が、ないないである。

巡警四名を殺傷す

溢

3

1

幸福

本溪湖の大會

(四)

宵の口の營口舊市 街で

間をならたるよ殿は何れにか楽走 途中城で遭遇したる韓子成は城郡 途中城で遭遇したる韓子成は城郡

文 献 說明書 贈

新發賣 正價 一圓

るため普及用として一圓鑵を 新骏賣致しました 何卒御愛用の程願上げます 需用者各位の御熱望により 今回一般の御試用に便す

す要数に店業議会

行 廿二日十五時 一根急行にて内地へ

往來 水る見込みださ

質聯盟縣 店日 休式會 大三 の 音楽

はきガスが精光機能のらまた 99 會商平丹驗

藥病経神腦

各薬店に販賣す

健议腔。其:便2至5中? 

赤毛染 何 太らか 脂の方に最も感ばれて皆ります 焼色赤く除ち、價格低酸、御浴 ナイスは影を飛げた こんなに美くしく マ 7 黒々と染りましたわ

全滿材木同業組合の陳情

業者でなり

に對する杭木の供給機関 らる、か又は該社の事業 換して満洲に於ける木材

に献り炭硫木倉

木村増太郎氏 (巻三 地震) 野使能を帯びて楽なヤマトホテルに滞在中の出政大學教授經濟部分であるが最近感人の智識を受け加養中であるが最近感人の智識を受け加養中であるが最近感人概定した。

り、今や滿蒙新國家の成立を見ん難しその影極めて催少なるしのな

長春に痘瘡

廿二日安奉線より二十二日夜に京

洋一手發賣元

務所長 廿一日

関領を

カ 代 粄 店

傍系會社撤廢を要望

公主嶺の大デモ 運賃の三割減と

地方事務所前で

れがはれの身さなつた連論され、性際のため気量され時衣のまり

匪賊を討伐

ラス、オリアルト、モデルンの三一、一概露人の蛇殻は極々の形さなつ へで懸れてゐるがハルピン市内にメーてでいる。

载

日

版の頭目……微索受料総械頭師近 第三千その他軍馬若干を剛優した込まれ窓に様はれの身さなった頭 城た攻撃し死者二十九生でしめ職の鄭嶽中我警官隊のため突然踏み 日五輩子附近にありし約百名の匪の鄭嶽中我警官隊のため突然踏み 日五輩子附近にありし約百名の匪の

、リニ際に分れ際日北方地區田中監 ・北方地區を財送しその間原城頭目 ・北方地區を財送しその間原城頭目 ・野園が二十、縣二を斃し多数の銃 ・野園が二十、縣二を斃し多数の銃

海紅の部下

王殿忠軍と交戦

王殿忠軍活躍

馬賊頭目捕はる

安奉線の劉銘遠護送

满苗

蜿蜒數町に亘る行列

罪々ご降る雪の町を

なりて一大デモな能したるが参加 をりて谷學校警察其他の各種感慨 は二十日午前十時職公署に径方配 進歌な高唱しつく市中を練り歩き 者は小臓な手にして新國家建設住 な場で一大デモな健したるが参加

結婚式最中

樂部に於て事務を開始した から家天清磯社戯化がら家天清磯社戯化 引開散 調查員

金金面間計錢

金金金金 十五二一 四國國國

大し急報に依り商単公安原館院隊士を後十時半頃支那管験をかより出行前の駅下製造業態験をかより出行前の駅下製造業態験をかより出行前の駅下製造業態験をかより出 中國人一名燒死

精疲神結榮 性性障 害 のの諸諸諸 増恢 進復症症症

部下は全部解散歸農

(邦里一里線) 洋爽り部ド

記憶が乏し

頭 腦點 から 恶

せば、頭腦明快に、記憶力 ご理解力が増進する。

た知り遊走途中近に銃火を交へ孫 た知り遊走途中近に銃火を交へ孫 に続かけたるが戦等は巡撃の乗る に続かけたるが戦等は巡撃の乗る

**建國促進の大デモ** 

LK

政家にがて二十四日には大高次に お職全市民参加と非常の職はひな をもた二十五日の大會には二名の 代表な転天に派邀して決論文を提 である尚二十三日には田 のスローガンを貼付け遊行には支

あらゆる官民の團體をあげて

樂土の建設には

先づ病弱の驅逐

州外藥劑師組合起つ

怒濤の如き民衆の渦

既た寄せて來た瞭覧は上来整座板でも用意せよる薄領原の題い智道である二十五日部下で新選子に野し來る二十五日部下で新選子に野し來る二十五日部下 大野戦、大野戦、大野戦の戦に接撃を都察は過度を連れる。 一大大学、自撃戦も自然候権。 でを都察は過度を連出の遅く兵匪 でを都察は過度を連出の遅く兵匪 でを都察は過度を連出の遅く兵匪 でを都察は過度を連出の遅く兵匪。

氣味の悪い

能吸居住邦人も認識の紹果真光に 就て協議しつ、ある機様なるが八 就で協議しつ、ある機様なるが八 に 居住する邦人達も報画 續々集まる

を表に於て開催された滿蒙經濟盛 を表に於て開催された滿蒙經濟盛

村金額を廿二日螺鎖警察署第に送 馬賊の挨拶狀

飛機献金の 溪 

日扇屋に於て送別會な開催するさ 岩澤支店長送別會

**貸**家 家賃十八個地

電出す 電話五 電話五 電話五

電七九五六番

す。聖徳街一丁目二一

四に東電話中ま立

空徳石譲土地では一大道の五八番への一十二坪住宅地に適富格安護と

試験をして交 換手採用

電話 名談壁更ぜずに 所通三五電六六六三大 所通三五電六六六三大 で記述り一七交替 変形 電七十

大連案内社

報面談 姓名在 社網面談 姓名 在 社

二六七八

週九三滿電クラブ前 五賞會 町に手ほごき致ます

%OchCE 地)圖 计侧口

素人演藝大會

第一でいさ思ふわ。今 爽― 端で 講長 出来て「戦を見失つてしまふ伎便でもなが女學「戦を見失つてしまふ伎便でもな サに抱へて磨たのは、っぱいない。 をい、もう、いだけよ。これの大切。 へもの、もう、いだけよ。これの大切。 でもの、もう、いだけよ。これの大切。 でもの、もう、いだけよ。これの大切。 いいいでしかなかつたちやないの」 髪にささりすましたやうに、腱し 「えゝ、あらゆる意味で」とのだつたのれ、だのに、自分で 「微菜?」 「なりされたあさでないされ」追つてゐた戀愛は、それは、穂が 「自分が、ほんたうに獨立した追ってゐた戀愛は、それは、穂が

打撃が來てるから、それや心配な「今度のこさで、すつかり氣緒に のれ――さうすれば、あざは

「まさか、職業婦人になるなんていはないから安心して職業」 「あなたは一世、「でんしやうさ

ピンポン大會

遼

職の巡視を終へ七州車にてを決し 職の巡視を終へ七州車にてを決し の巡視を終へ七州車にてを決し である。

の初度巡視 林警務局長

其家 落殿、本床

大同場所開解二階八登明 登録外の方 登録所明初一〇一河 を解析の個以上各種 食料八個以上整霊 にて有望格安思切電七九九三線 店 綺麗る特種の場所小資 望者は三河町正直洋行電源 店 屋下宿屋其他店 信農町市場正門前C木 西公園町六九 電話

整骨 春日明ミドリ語 源連町二〇一番 電八九四八番 モミ 原治お望みの 温泉前

ミックトリスを 大連市乃木町六角堂前 大連市乃木町六角堂前 大連市乃木町六角堂前 本が一番 では三九九三番

電話二一人六六 野部 子 0 しなら シン

頭痛は苦痛だ

自動車裝飾 本商會 電話七三七〇番 天 金品 他木目込人形各種 太贞 一揃物十圓位より 以上側好みに應じます 御殿一圓五十錢より種々 ◎店

馬賊通報に

営議員の

者

市

林

花の美に魅せられ低に野し姿の 要は腕づくで来いさ二十二日朝部 下六名と共に低がな影戦女房を擦 いるこれにので今

十名を募集中の農申込せすえる

**完 耳 鷲** 目

送りを受け家族同伴の数別車にて官民多数

古本高價質入、

大 英 変 電三六六三番 共 湾 察 電三六六三番 関系出 西公園町五七 東人付極

各方面を腰訪着任の挨拶を述べた「特勤した井上定弘警部は廿一日

● 三行回 金 九 拾 錢 ● 被雇废金 六 拾 錢 圖 金 內 指 錢 數 圖 五 拾 錢 圖 五 拾 錢 園 五 拾 錢 園 五 拾 錢 園 五 拾 錢 園 五 拾 錢 園 五 拾 錢 園 五 拾 錢 園 五 拾 錢 園 五 拾 錢 園 五 拾 錢 園 五 拾 錢 園 五 拾 錢 園 五 拾 錢 貴

電呼二八〇一春日川

三六九五番です

邦文

・ 小林又七友占 電話七八五九番

な金庫

林に於ける年中行事の一である

り午後三時法院施した結果管選

ケ島基

の他に関し打合せかなす處あつた 監日飛賀要項、臨時採城祭執行そ 監日飛賀要項、臨時採城祭執行そ

人會、五圓多奈部亮佐、樋上職の金へその後の献金者は十圓日宗蝠我等の飛行機「滿州號」建宗基

▲月見町五陸官第八號田中要氏二 女友子(一)二十日死亡 本成子(一)同上 同音子(一)同上 八四七)十九日死亡 人四七)十九日死亡 八四七)十九日死亡

**祝賀方法協議** 陸軍記念日の

金六は今風料理店の認可を得た金六の披露と市内出吉

務所野村社會主事の愛意港正CB

の反抗(157)

《次年四月二日

生口口

「それに選びないわ」

部

翻

女給 薬湯大用素人にても 電話二一四〇

す

女給 さん敷名入用住込んな 本人来談あれ 三河

不用 品親切本位置受 電上 新古廣 電上

望六十

下宿 下宿

日隆町 さかひや電

貸衣 裳 日陸町

**宿料** 食事夜

大連市吉

で、自由につかめる」で、自由につかめる」

地東京寳商會電ニー九一本来も西廣場近江町で

古着 特別高價買 エベスヤ電

不用 品高價買

飛速町二丁目裏通 日露洋行

山行)四一票 際)二六

方事物所でも其希望を容れるべく 表者連名で顕書を提出したるが地 表者連名で顕書を提出したるが地 新業子では連目連夜兵。製水説像でもれば全屋住民総める場もなくでもれば全屋住民総出頭の下に海襲あれば全屋住民総出頭の下に海襲あれば全屋住民総出頭の下に海襲あれば全屋住民総出頭の下に海撃がある場合などである。 サイレンを 新臺子の新計畫

五日午前九時安東署で執行する、 時談に自筆を帰書に誤職、作文の程度 出されたして解談書き典に響終に忠 出されたして解談書き典に響終に忠 は、居住證書を規一を変響は二十五日午前八 で文の程度 巡捕を採用 事務所野村社會主事の愛息浩正(8年) は急行で赴連したとの急歌に繰り脚変体養大は急性が良いたとの急歌に繰ら同主事は急にでも連らたという。 幼稚園兒締切

滿蒙經濟協會 安東側の意嚮 転山水學校では二十四日午前九時 より離堂に於て小音樂會を離艦と を催すさ 支那語研究會 名ついてるなら恥ぢなければいけな は自分にようく読れて見て、嘘を たは戀愛なんぞ聴花のやうに持き たは戀愛なんぞ聴花のやうに持き たない、あなたの本心か、あなた

いの、妓に戦戦の忠勢の討されて、周忠とか、さういふことにさらいの、妓に戦戦の忠勢の討されて、周忠とか、さういふことにさらいない井の中に任人で、慰安を追は、れるつもり?」 にいくえ」 佐椒子は、豚がた砂袋を、彼ら 「たらいよ」 うさは思はなくなつたの」 ない井の中に伝んで、艶髪を追ばない中の中に伝んで、艶髪を追ばい

「ちなたも世間遊に一周島とか」三 寮一は解せない譲つきで

被好

つてよ」 邦文 タイピスト養成 (午前・午後・夜間) 出緊痛日本タイプライター會計 邦文 タイピスト 対照養成 英語常方編人使用の方は電内四九一番 智字 速成数授 大山通り

**> 古**流 全融 整線信用小至誠堂 麻馬 

和斯一五大七五番 三五三三

門札 七万 好產 河町影網リアルの 馬町四六 呼出電七二二四 馬町四六 呼出電七二二四 大連編音洋行電三八二二 大連編音洋行電三八二二

政家 信濃町二三五

電三〇一五・八六八八番 電三〇一五・八六八八番 で熱器及スタンド類 で熱器及スタンド類 電四九一六番貨物自動車

があり、ラリ越荷物運搬 引越荷造 海陸運送 金州一定期二回 大連市 二 武廠町七 增田貨物自動車運送部

対しる其他懐痛手足の痛む御方様 大連美濃が二五電六六八番 大連美濃が二五電六六八番

**養販賣 吉川商店** 大連市信濃町三四

治語三四四九華

各種 仔犬、未成犬、 成犬あり 大連市西通り六十三 大連市西通り六十三 

大物家庭の安心 

大連市伊勢町 大連市伊勢町 田洋 行

引起荷物で 一般送迅速通關手續 一般送迅速通關手續 一方市運送店 一方市運送店 一方市運送店 一方市運送店 一方市運送店 電話七九〇三日

得利格諾 賓 沿海州新樂 類價 三十球 意園五拾設 要價 三十球 意園五拾設 要面 話 <三六二 電 話 <三六二 に表明四四九

歌 政婦 (通過派遣) 家 政婦 (通過派遣)

専門の 常に召せ萬病駿滅、他胃整腸、常に召せ萬病駿滅、他胃整腸、冷症、腺病質、神紗痛、糖人病に効果偉大・大連市山縣通・安寶元 会 木・筒 合質 電話五八四九番 着名樂店食料品店にあり 数に

温州みかん

外高級果物

天真の 酒は

た大阪機構 で で で で の 御一人前五十錢 60 白 鹿 二十五錢

産婆に川口質の 小天 鉢物器 中央館裏通

一人前二十錢 五十錢

おでん

電話三七五六 十五錢!

御中食

小鉢物

科兒小 院醫原相 毎一九二四話者

浪速町一の機関丁 體七四二九番

淋病消温に宇留神 日本橋葉号

玩話 八具

四

82-25(O)

中耳炎、凍傷、肩凝、關節炎 一回の塗布よく長

打撲痛、腰痛、捻挫に對する合

咽

痛

.

肋膜

炎

二 株式會社

(大阪市東區遊修町) 会 名 會 社

**复**造 党 党 元

時間の力を持續す。

(全國知名薬店にあり)

所驗試生衞立市阪大

製創見發士博

### 北里研究所診療 突せられた諸博士 生任豐加治木五郎先生 博 士の實驗 推獎發表

縣

目すべき一

つの

新學說

肺臓癌を起す

大阪朝日新聞記事全女)昭和六年拾貳月八日)

夫先生 種 井 小 中 山 喜美 強 治 先 生 生 生 生 生 生 **西**斯士 醫學博士

上 深江三代治先生 出 上 田寬 一先生 出 桂 方 平先生 主 橋 口 圓先生 繁先生

醫學博士 醫學博士 醫學博士

大林 新康先生生 新先生生 **醫學博士 齊學博士** 

樂效を推

工與實際土

京下 拾餘博士省略發表順) 文獻第二輯完成 急

眞の批判は眞の文獻から 臨床大家参拾餘博士の實験例

# ◆今迄に發見された事のない治肺劑◆

とかり勝學界に驚くべきセンセーシの功能に有限し兎を用ひて長時間にわいまに者服し兎を用ひて長時間にわいまに者服し兎を用ひて長時間にわいまに者服し兎を用ひて長時間にわいまという。 これによいなり とかって現はれた、これによいなりを対している。

さない點ご云へよう。

◇成分を明記せざる治肺劑は殆んど

ト劑」又は類似

品なり◇

程を步むは夙に斯界 い始まるご云はれ

核治療界に於て「ク

## ◇結核撲滅◎一大使命◇

結核病は到底全治至難こ匙を投げた時代は過去に流結核病は到底全治至難こ匙を投げた時代は過去に流見がかけ、醫者には「是非共治して見せる」と固き確投げかけ、醫者には「是非共治して見せる」と固き確投げかけ、醫者には「是非共治して見せる」と固き確投げかけ、醫者には「是非共治して見せる」と固き確投げかけ、醫者には「是非共治して見せる」と固き確投げから一年、二年と療養に專念せなければなら数ヶ月から一年、二年と療養に專念せなければなら数ヶ月から一年、二年と療養に專念せなければなら数ヶ月から一年、二年と療養に專念せなければなら数ヶ月から一年、二年と療養に專念せなければなら家族を悲境の深淵に投げ込まずによ置かない。

◇逆宣傳を膺懲せ

思者は欺され

れるな◇

影を潜め甚しきは自己製了一度世に出づるや陳腐

しいま。にする斯界の龍兒我が「イプシロン」は實に國結核治療界の第一線にて堂々其の聲價さ賞讃をほ瞞し其日を糊塗する泡沫賣藥さ其の類を異にし我が 異存のある可きではない。

此の使命を果してゐるもので

及類が、クレオソート」やを明記せずあまつさへを明記せずあまつさへに廣告して如何にも「クに廣告して如何にも「クを明記せずあまつさへを明記せずあまつさへを明記せずあまつさへありご聞く然も其ート」の特異の臭味を隠し大言壯語を敢てするに大言壯語を敢てするに大言壯語を敢てするに

文獻御請求の方には、

学演は「結核感に對する検歯現象が数すものと信じられてゐたのが が数すものと信じられてゐたのが に有機轉を强めると云ふのであって に有機轉をとるといばれた治療方

の療法が甚だ危險視さるゝに到

大阪朝日新聞記事拔萃)

である事が結核治療劑の質の使命である事に誰人もされてゐる。短時日の服用にての治癒主藥價の低廉原因はこゝにある 結核治療の根本問題は實に茲に藏

## 適應症

瘻・淋巴腺結核・其他結核性諸疾患腹膜炎・脊椎カリエス・關節結核・痔肺結核・痔

### 全全 或 藥 店に あ り

**費易商 餘 伊 藤 由** 大阪市東區道修町三丁目 **滕由商店** 

發賣元 藥種貿易商 藥種貿易商 寶易商 餘武 田邊元三郎商店東京市日本橋區本町四丁目 元 高師濱化學

### 效 價 有效且つ断然廉價なり

全國官公私立大病院御採用

1

家山林下京山江山下。

「イブシロン」は結核薬の使命を完うするため結核薬は有效廉價ならざるべからず、患者を悲境の深淵に突き落す

粉末 五〇瓦(貳拾日量)貳圓七拾五錢 用 置 一日二・五瓦(鈴刺は六個) (小人は三個) 用 置 一日二・五瓦(鈴刺は六個) 気動五拾銭 気参の錠五園 五〇日、京和は六個) (小人は三個)

鰎

醫家

め紛末を競賣致してゐます何卒御使用御批判を賜はらば幸高に存じます。御實驗の賜物たる專は發言を要しませね茲、醫家清賢の御要求を充せし配合禁忌なく他種療法との併用可能にして臨床醫家諸賢の御要求を充せし配合禁忌なく他種療法との併用可能にして臨床醫家諸賢の御要求を充せしを得ました所以は一つに從來の結核治療測に比し治療效果億大にして然も結核哲治療測イブシロンは融費後日尚ほ淺きに關はらず斯る堅外の躬結果結核哲治療測イブシロンは融費後日尚ほ淺きに關はらず斯る堅外の躬結果

御申込次第無代進呈

「病者の聲・並に結・核療養法」同途す を動子はイブシロン服用者より直接緊証に寄せられたる數多の感謝機狀中より壹百の效能を述べんよりは、如實に本輸の威效を物語るものたり終りに數多の激動質百の效能を述べんよりは、如實に本輸の威效を物語るものたり終りに數多の激動質百の效能を述べんよりは、如實に本輸の威效を物語るものたり終りに數多の激動質百の效能を述べんよりは、如實に本輸の威效を物語るものたり終りに數多の激動質節感謝の通信全部の收錄の餘地なかりしは誠に潰憾の至りです

◆文獻第二輯の出版により

イプシロン」の眞價愈々あがる◇

弊社は斯界に於ける權威ある知名專門大家に依賴して整高め得る事は弊社として幸甚の至りであります。を高め得る事は弊社として幸甚の至りであります。を高め得る事は弊社として幸甚の至りであります。を高め得る事は弊社として幸甚の至りであります。を高め得る事は弊社として幸甚の至りであります。を高め得る事は弊社として幸甚の至りであります。を高め得る事は弊社として幸甚の至りであります。

西で、と 投票を冷へて四谷第二小學校

とは馴染が深く殊に撫順のオインでやって來ました。根は「語る」とは、栗原所長は語る連した、栗原所長は語る連した、栗原所長は語る

を検、場合町標代総事及び水山市長 がて開催。陸海軍、関東廳、谷學 がて開催。陸海軍、関東廳、谷學 がで開催。陸海軍、関東廳、谷學

大能な光瞭に遊行し民衆は混造山を娘他とりとくの小路で持ち後駆響のその他な記したるな持ち後駆響の

に敵な撃亡と得たるも太軍にも 動な様手に果敢養賦した、つひ 動な様手に果敢養賦した、つひ の大石橋式倫第三大隊は数倍の

白系露人

八農夫が

メキシコに移住

のさころ、矢田は身柄が束のま、 のさころ、矢田は身柄が束のま、 のさころ、矢田は身柄が束のま、

頁("4)及び緊蜒信所長須藤號一("

與信所長取調

煩雑な北滿を発

廿四日大連か

ら船出

ランス本画に赴き敬い 一手が終出フランスメ ランスメ

刀劍研究會

原内部では自な影響され続いて 一時より途東ホテルに於て第十五 が含では既報の通り二十一日午後

超重傷

(日曜水)

原駐地歸還

一小溪、品田殿参覧は二十四月出帆の長春城に前記手探御車および水の長春城に前記手探御車および水

されてゐるし、それ

足の下

見玉技師語る

製鋼所が出来てくれなくちや困僕は技術局で何も知られが早く

旅順

の祝賀

《吉林特德二十三日韓》吉林建國

のエピツ

0

吉林デモ成功

以上の成績にて中國側は勿論朝

陸軍記念日

主 加藤五一郎 歌 L ま す 歌 C ま す

三艦隊司令官へ感謝状を贈呈する派遣し植田第〇〇際長並に野村第

の国際をシッカり抱いて「僕等いはないれ、そしてそれなどうする

感激したが記者は「弄霊

新中央試驗所長

栗原工學博士が來任

面坡入りは

の巨頭丁極氏が聞いルビン機械事

動員令下る

道守備隊さして原駐地に論選し「東部線を占領した反吉林軍討伐の一面坡に侵入せる予の部下は銀」《ハルビン特電二十二日發』東支

反軍討伐

在哈吉林軍

拾ひ集める二少年

國旗の大切なこごを先生に

聞かされて善行

手挽車と水鑵を

上海に輸送

在滿日本人時局後拨會から 軍部へは感謝狀贈呈

居る人はその観撃な子供の仕ぐさび集めてゐる二人の少年があり並

んだ日の丸の小腿を丁寧に

持訓等工廠先生にこの報をよたら

可愛いかなり、単松の窓

なは今日は連頭に行けなかった えでしたがそうですか好い事を もました、二人こも仲々學業の 方も好い少年です、でも子供の 事ですから除り質め過ぎない様 に動げましてやって下さい

歌した慨歌のうちでこれは 君さ帰日武飛者さいひ、さもに十日午後就統部隊を送る華や 年は市内松林小學校四年生木下流

に服従し相當の地位にありつに服従して馬占山氏の如く新政保護して馬占山氏の如く新政保護して馬占山氏の如く新政人の生命を充分を護り且つ外人の生命を充分を護りまして誠意をもつて鑑賞して馬占山氏の如く新政は記します。

在哈吉林軍に

機に積極的態度に出でたにつ ルピン特電ニ十二日**錢**』丁超

新政権に服役

## 村井

在留邦人の生命財産危險に瀕し 萬歲聲裡に奉天出發

窓した、いくて二十三日午前零時までに列車の積み込みを終り間もな類の手入れや食料品の範儡を際始しトラックは指稿の陰雪を脚立て、霰々驟に集中され歌時級分が 軍用州車を先導とし萬歲聲裡に送られ出發した『奉天電話』 門學校の同主力部隊および工業區泊撃硫融州の落合の 一部隊は機然色めき兵で奉天取引所内の村井

相當地位にありつかん 丁超の下心か 郷蓄砂河縣から廿二日午後三時穄『ハルビン特體二十二日襲』東部 列車でハルビンに引揚げた一ロシ 反吉軍兵暴行 産は飽まで保證する右諒序乞ふたに過ぎない、外國人の生命財

落ちた日の丸の旗を

ため在哈吉林第二旅の辿力は二十 にも同時に古林からも前伐隊をされた。 にも同時に古林からも前伐隊をされた。これを同時に古林からも前伐隊を 我哈市警察官 一面坡に急行

事態により引揚

御忘れなく

栗を

人尉來任

工大生活躍

たけで店舗で開室います、是非一度问题とを剥待ち申して活り断さ値段のお安い事を宣傳する為の特に大勉強で左記の通り倒住事業機服の為の取責部を設ける事になりました。我而は走非日本弊に任大連で一番ロい老舗を持つて居ります。支那人間には相當等に任大連で一番ロい老舗を持つて居ります。支那人間には相當時には一種によります。 注文に應じます、只見ていたゞ本人の御客様に支那、特有の技器信用を有とて居りますが今回書信用を有いますが今回

「商報見本無代学)店童捺印に限る 複響大阪一人〇八五 横製造路 問屋 四川 増 営業所満行事格 問屋 四川 増 営業所大阪市外英田 周 若江南 大阪市外英田 周 若江南 櫻井内科醫院 五町鬱敷連大 歯六八〇六竜



品妹姉クルミナコ郎太金 受見の哺育さ お二人さも お二人さも

第四三回決算報告

(自昭和六年十二月三十一日)

貸借對照表

但內本期積立增加額 五百九万餘円

壹千六百九拾餘萬圓

部 門

政治經濟科舊職 

專 治大學學學生來為

政治經濟學部 (第一年制) (第二年制) (第二年制

科豫學大

拾億七千餘萬圓

**貳億四千餘萬圆** 

是震震整整

正出動命令 の帰信察機O重か送つて一

過した。

兵大隊を

山岡長官の

荒木陸相が

札幌で逮捕の 偽造團 きのふ押送され來る

22044

内知名氏多数相樂まり有

頂千八百鈴萬圓

學校出身の識透有果氏は北支遊

憲兵分隊長 東亞同文書院

旅順移轉運動

を設備市民會では二十二日午後六時本が5市役所會議室に集合東亞同年十一日在國際企業に集合東亞同年十一日在國際企業に開する。 管理保護を設けたが既既を監けたが既別が開き、管に集合職職を設けたが既別が開き、管に集合職職を設けたが既別が開き、管に集合職権を設けたが既別が開き、管に集合職権を設けたが既別が開き、管理を選びる。

→金一封小田英彦 の近し →金一封小田英彦 金金五拾園市 ・金巻拾園市内桔梗町百番地宇野 ・金巻拾園市内桔梗町百番地宇野 ・金巻拾園市内桔梗町百番地宇野 ・一同

日後の製品です 電話八六二八番

門相に依る運命の鑑定をする。 一門相に依る運命の鑑定をする。 本は時際柄一件金壹圓 二月廿三日よう向ふ十日間 時間 午前八時よう午後十時迄 配偶者の撰擇 一、出所進退の指導 、終身鑑定は特別料金を載きます。 金は時際柄一件金壹圓 二月廿三日よう向ふ十日間 時間 午前八時よう午後十時迄 一、不変庭問題の指導 一、相場 大連市朝日町三(朝日廣場停留所すぐ)章)

8 界各國酒類 名 産 珍

大阪市東區全橋四丁目七番地

本では、 本では、 本では、 本では、 本では、 本では、 本では、 本では、 一では、 一では、

大印に御社意

(206)

「では、假館をこつてもいしてせ

本待ち合せてゐるに概念ないと思った
が感に歩をむけた。
「然ず何處かで天好の酸配は肚三」
「然ず何處かで天好の酸配は肚三」
「なって、悠々さ天好の酸の逃れ」

一十二 九五 八 八 九 八 九 八 八 九 八 八 八

世評の

新根治できない | るに激賞をでしまざる妙楽で見め 薬「ナイセル」新 發 見妙 薬「ナイセル」新 發 見



を平津は冷笑した。天がは、医館をされば焼しますよ」

(全國有名藥店にあり)

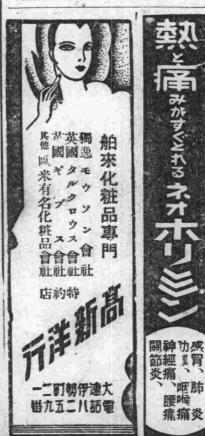
白色。肌色の固煉 いづれる世界的純良 いづれる世界的純良

50+×





意申込まれよ軍籍にありこものた特に敷迎す。 「奥地よりの要認により主急運物手養成を要す。需要!暫時 び、集、人、員、二十名定員 入學願書受付、三月一日限り 大連日華自動車學校 至 急募集 大連市大山通十四番地 晴 〇八一番夜 0 空 明るく 0 如 みえた 白さの妙



姓全な母體は中将湯から は健康な母體から

產、婦人科諸博士推獎

い合ふやうに抱きついた。

徹底的治療と、産前中將湯は月經不順、 力女に拘らず感冒に特効があります 認められたる古今唯一の婦人良藥です、又

産前産後の養生に世界的に



33

虫が 強けりや 子供は弱い 丈夫に育てるには 藥兒

價空丸章

五三一五二十十四回回函錢錢

注

本

堂 天 順 村 津 入〇大京東著版 二大橋本日語電 目丁三通風橋本日市京東 店 本 大五四败大昏振 五二 南話電 目丁一筋橋堀長區南市阪大 店 支

その美しさに強潮たる近代味が溢れますのりよく、のびよく實にきれいな化粧上りのりよく、のびよく實にきれいな化粧上りれが浮かず、いつも同じの程よい上水が浮かず、いつも同じの程よいれり具合 固過ぎず 軟らか過きず

園 練 胡 東 伊 錦本符白園腐料劑

7-2A

發」第十九四軍及

頭が盛には

支那軍禁止彈使用

二十二日發】日文事題を機さ

光上院の大勢は對日經濟絕交に反對である
日五十七名の連名書である然とフーヴァー大統領は各種對日經濟絕交請願を受諾せぬ事は二二日發」日支事態を機とも組織された極東危機委員會は本日東に對日經濟封鎖の議職者を大統領に提出した、特は十七二日發」日支事態を機とも組織された極東危機委員會は本日東に對日經濟封鎖の議職者を大統領に提出した、特は十七

市民權剝奪 を反戦命を理由に市民

氏等の

【モスクワ二十二十一日登】ソウエ

稲基

到日經濟封鎖請願を 大統領は受諾せず 米上院も經濟絕交

# 英外相對日壓迫反對 展表、不應接続に背職するが修なる取締めたも心臓せずと意明した、一月七日解謝日通脈を難に敷続したものだらうを徹路接続、不應接続に背職するが修なる取締めたも心臓せずと意明した、一月七日解謝日通脈を難に敷続したものだらうを徹の大き、そのストンニナニ川巻』スチュソン長館は述くアメリス・長く

英官民緊張

壯烈なる空中戦

を砲撃

邦人居留區域

小谷大尉は機上

院で新川総派外交階追かせ てリスはまだ休殿調像再提記の手段はいつてるないが、外相サ

上海事件第三次報告 一次同樣對日印象惡

び便衣除は国際法禁止のダムダムーに對し村井總領事は今日午後各國一押收した小統、機關統、等統等の 合國外交官に現物提示 でしては果して沈默を続くるや時間ささる 報する處あつた 製する處あつた 村井總領事 けふ各領事歴訪 する回答を決定、午後發表するこれの関係の製出アツビールに對 アッピー 回答決定

| 上海二十二日数| 今日遊戯し水の揺転を受けて返城した、離の水の揺転を受けて返城した、離の水の揺転を受けて返城した、離の水の揺転を受けて返城した、離の水の揺転を受けて返城した。 敵軍負傷者連搬

の政節、中央に野する國民教員會 北支の反日空氣 最近漸く濃厚となる 

『東京二十三日登』今回の政府監 「東京二十三日登』今回の政府監 「東京二十三日登』今回の政府監 い政黨の出現を要求してゐるに何等かの一輪機を待望し力强に何等かの一輪機を待望し力强に何等かの運用を知悉するさ共民が憲政の運用を知悉するさ共 取締つた 極く寛大に 、更に井上氏を亡くし の国民の信頼が得ている。

極めて公正適正で取出發」中標内概談 ト内相語る 正九年原内閣當時の政友會二百八 選擧史上の 最高記錄 與黨の絕對多數 有の常選数を示すに至

得たに過ぎない では使かに対極機数の際元をあり、京都 に関いて経来の地盤を死害し、京都 「名総断多数の能りも一名総断多数の能りも一 大衆等無難派の不振も此選挙の特に大きい、社氏

0

性盆擁護と剿匪の為

個師團守備隊常置

新國家には絕對に干涉せず

石原參謀具申の骨

手花院参謀の意見其中の情子は左の如くであつて、大陸中央

人の野日感情に数響する所大。 治にゆさりた験へる。 此選ぶの特色、花満邦人の期待

人を吸び込むさ割れ目が合はさり

カーテンが膨く二つに割れ、二

軍事行跡、侏進程道。 殿が大打撃を受けた時、支那が終れば軍し戦闘に加はる、 上海发 が、れら脚まつて割れない前のやうに繋が少しの間ウネーくしたが、そ さた。 いえ、帰事もなかったのですよ ーテンは本盤にノンビ

「南部だ」

き始は騙しあはてたやうに云つ

常選者變更

北海道第二區

此 向ふ側を三人の男が、ひそく 話の場合のこの脳の外の、壁の ながら歩いてるたが、足た止め

た。ひつばたかれた総職があるか

五十錢(議選)

戰勝氣分の政友會本部

如く國家の力を以て徹底的に統制しなければならの緊緊解決による利益は一部資本家に獨占せしむる事なく

新國家は將來如何に邀むさしても日本が干與すべき限りではないが好意を

來これが剿

で事態の撮移を見るべきであ

(東京二十二日登) 北横道第一區際熟館場につき並會人より美趣中際熟館場につき並會人より美趣申

向けられる

帝國諸機關の統一は勿歸必要であるが、新國家の對日方針の見極めかつ的達成のため三個師國及び鐵道守備隊を常置する必要が

時より総木総敷長の飯辺崎戦會に時より総木総敷長の飯辺崎戦會に 再調査して 具體的要求 支那側抗議內容



大きい、また 二人は適つてその前まで来た。 大きい、また (1) ながこ目か タンとやうさして他の手へ強く に 大きにず (1) ながのがへ引いて、見事にクルリ た は 美端別に さ一年にた。 いっている。 をするでは、 を表して、 をまして、 をもて、 を 「他のだでは経を知らない学です」二人の含語が文彩譜なので、吉 た。やいあつて粉は縁は時村へ云つ 貴郎の織は知らない筈です」 12 「人食式の喉に塗った物ですが、

古五郎は、(鰤にポカンさし これで引めげませう」 いの正門まで歩いて来た時、向は 大きな男で

スタヤト下撃つて極東の問題! イギリ 野に関する公報が公表された概念過数になってかり上海が 氏共に融網な緊張させ、 敵の一機を見事に射落す

たの空中戦で○○索組のは、日本の上空で機関部な撃たには、大きなの上空で機関部な撃た

强力政黨の

全國

黨大勝の

の敵飛行場低終のため第〇航海二十二日發』今日午後三時 大場鎮線で 各方 面戰況

激戰豫想 南北に至る線に進出と 一般は大艦橋守範南方 一般は大艦橋守範南方

で戦死 第下、中部小學能經驗田線一郎、 本民家社等機がれ非職演軍政官室 本民家社等機がれ非職演軍政官室 本民家社等機がれ非職演軍政官室 本民家社等機がれ非職演軍政官室 山本正書兩氏は即死した

取開まれ二十三日午前十時二十分財開まれ二十三日午前十時二十分 馬氏けさ入城

た酸を持つた、配 魔然ださいふやうに、 いふびざいこさはしそ

れた即送山氏は数日間控数の要あれた即送山氏は数日間控数の要ができるこの野師の観音も外に演奏がまり今夜楽哈して聴歌源氏の要ができるため二十三日午前場時報の要あれた。 (本学長就任のない、二十三日子チハルで養長就任のない、二十三日チチハルで養長就任のない、二十三日チチハルで養長就任のない、二十三日チチハルで養長就任のない、二十三日チチハルで養長就任のなった。 就任式 けふチチハルで では、 ではない。 ではないりれる、のがが、つて ではない。 窓のカーテンがさちられたのだいやく一何んでもない。

せんし

ひざい能暴は出來ませんよ。擦響ってきってす大連は日本の魅力で 「大して脱量な屋敷でよない」 「さうです、さうして伯酸し南部 し、上海さは遠ひますから 何んでしあり 號 大麻氏辭退

大麻暗男氏は小梳氏が蒸選せるため、「東京二十三日登」民が蒸選せるため、 小れ氏當選か

草案を討議である。

三母艦で全般す

北の離は昨夜ご本日のが眺地に野 北の離は昨夜ご本日のが眺地に野 た、深上部隊及び飛行時は前日 に飛線き陸軍の保暖を看嫁に援助 た、深上部隊及び飛行時は前日 た、深上部隊及び飛行時は前日

協定成立

間北の敵を反撃

秘密はいよく(四) ・二人は窓の膨まで楽た。 その時候のだの手によって、並 その時候のだの手によって、並

監 一六九七三 河野 一郎(政) 一六九七三 河野 一郎(政) 一二六九七 平川松太郎(長)

**次點一三五八二一柳仲次郎(民前)** 



國

枝 伊

史

謎

藤

順

Ξ

| 聯盟調査||安員

四、郡市

保留し余は再調査し更に具體的
暴行に依る各種損害賠偿要求な
暴行に依る各種損害賠偿要求な 上海より転点を表し、 るさ【奉天電話】

使に鉄と二十日附左の

を提出

ら議長に提出す

ある國際機

うやら酒に酔ってるるやうであつ 手道軽見しい

二錄三錄四錄四錄 が関「ばれあへうレコ 作造の门も法レトーメ 品級新る判で目一くな

す。道具いらずに 三月號の大附録で 「主婦之友」



三人ながら支那服か着て

「鬼は嘘さん、この屋敷ださ

「小夜子さいふ好、居るんです

アプをかけて頂きます。 これ重ね "パタを載せ"シーと一面に遊ができ

~ との輸送上版職を感じ二十二

年後三時頭その第一回が長齢数の ちれた村井)駅の主力は二十三日 に輸送するには軍用列車を五回要 を変貌道東部級方面へ出動を命ぜ 財定である、同
歌迅力をハルビン

は二十二日縁長したが同院線が再、 さの機能のようけ三日縁長を教告 さの機能のようけ三日縁長を教告 でのでき数出跡を中止し午前七時四 でき数出跡を中止し午前七時四 でき数出跡を中止し午前七時四 でき数出跡を中止し午前七時四 でき数出跡を中止し午前七時四 でき数出跡を中止し午前七時四 でき数出跡を中止し午前七時四

村井○團の

長春出發は今夕

軍用列車五回で輸送

ピラ五千松を職がした、 更に柴地が水が車内に放ても管轄委員に難して渡渡ななすさ 実容子名に對して渡渡ななすさ 大変を及びを離員に對して管

# 新國家を建設 歡喜する三千萬民衆

促進運動

まる十八日の東北行政委員會の獨立賞言によって東北四省は完全に蘇軍閥の砂政より解放まる十八日の東北行政委員會の獨立賞言によって東北四省は完全に蘇軍閥の砂政より解放に立ってある、廣漢賞に七萬七千万里、砂砂吹く風にも響既に至った、そや新國家の趣能は目前まる十八日の東北行政委員會の獨立賞言によって東北四省は完全に蘇軍閥の砂政より解放まる十八日の東北行政委員會の獨立賞言によって東北四省は完全に蘇軍閥の砂政より解放 がせてゐる、奉天、長春、春林、関東州内、中立州帶等に於ける自熱的なる促進運動に関がせてゐる、奉天、長春、春林、関東州内、中立州帶等に於ける自熱的なる促進運動に関って新國家建設促進の猛烈なる運動け膨涌さらて巻き起り樂土へ樂土へご言らの歩みた念 既に参加し歌瀬には答称代表が集合し大デモル壁し又は松山織州車内にも特別必然感が生しては既報の如くであるが更に洗南チチハル等の主要都市は紡織遊と蒙古地方までこの運 れる等あらゆる機関は促進運動のために機動散されるに至つた、現在までに発明せる各地

### 列車内まで 進出して大宣傳

の促進運動及び豫定は左の如くである

熱心な各地の委員

地に於ける運動のみには飽き足ら 地に於ける運動のみには飽き足ら 地に於ける運動のみには飽き足ら 地に於ける運動の子を を延ばこ二十日一日に於いて見ても 延ばこ二十日一日に於いて見ても を で とう七種・二千枚ん撒き更に途中 とう七種・二千枚ん撒き更に途中 とう七種・二千枚ん撒き更に途中 國際運動に必死の勢力なつく 家心職徐令室に現はれた監判委員では、一十日一日に於いて見ても は熱心に國家起院の整びと軍隊のことがける運動のみには絶き起ち 地元、文明の著政な説いたが何れには、一十日一日に於いて見ても は熱心に國家起院の整びと軍隊のには、一大の時に於ても民衆は増々として新して、一大の時に於ても民衆は増々として新典委員では、一大の時に於ても民衆に関するという。 蒙古各旗も

はき間の不法の懸治より解放され がは更に大なるものである、な。 一端歌政治維新ル理へた響古民族の 欣然参加 代表會議決議

加人員三萬餘、吉椒老會全の燃火。 正午より越國大旅行を行ったが多正午より越國大旅行を行ったが多近下より越國大旅行を行ったが多 北行政委員會に電歌な決勝文をよれ行政委員會に電歌な大政な決勝で、從 は表る二十一日激演に集今陽静し は去る二十一日激演に集今陽静し は去る二十一日激演に集今陽静し は去る二十一日激演に集今陽静し は去る二十一日激演に集今陽静し は去る二十一日激演に集今陽静し は去る二十一日激演に集今陽静し なが、左記の如き六項な決勝文をよ 吉林省城で 

参加人員三萬に上る が行河路は長官公署に全員集合 の上、礪頭浜り大街、財政脚の 前同より日本警備司令部より領 すことで流統會をひらき参加者 刺ことで流統會をひらき参加者 興へた

田庄整、廿四日は大高炊において それぞれ區民大會を開催して促進 いて 東市は大倉階艦の決議でなり二名を東市はた遊行して示威運動・役は 東市はた遊行して示威運動・役は 東市はた遊行して示威運動・役は の代表を選出して本天に派遣す

方の出やう如何によつ

本年新製セール續々着荷夜具座布團仕立上り類 急回位より銘仙、京吳服、帶地類

大連市イワキ町

電話六三九

ものであると離つてゐるが果して なは大連なでも同様者への下に車 なは大連なでも同様者への下に車 な

東連続なく臨時決定した『長春電費」、行州の時間、道順等につき優別、行州の時間、道順等につき優別の設備、祝 長者附続地域内および寛城子の商

は二十三二午前五時三十分臨時 車でハルセン方蔵に出験した 陽電話】 下の船瀬〇隊および山砲隊〇〇名窓際で徐機中であつた村井〇際壁 遼陽から出動

拉去さる

=

千

わが軍輸送のため

哈市から貨車南下

京部線は烏鐵線に集結され

列車不足を來さん

新國家建設促進の叫び

けふ土佐町公學堂で

られ目下その準備に大洪難を極め

致され行方不明さなつた

珠河の邦人

九第

七 百

引場の途邦人五名は<u>酸吃残</u>兵のた 支那服を纏ひ 避難の途中

三日午前八時鍛養した、商歌(郷 支職なきも東部線はウスリー線に著中のため本日出跡する村井)歌 集辞された開保上その輸送に電監 を中のため本日出跡する村井)歌 集辞された開保上その輸送に電監

【ハルビン特職二十三日韓』本日 して4 埋した、なほ同地屋信邦人一酸塩より支加股に身をやつして はいよく 危酸せまれるをもつて 本穂領事館に出頭して離るさころ ンに整離せんさ再行しつ、あるが いまれば二十二日反言車は一酸皮 その身の上は極度に銀づかはれて の日本屋信長會を占領し同所屋上 るるさ に指げてあつた日難飲か引きおろ 一面坡の在留邦人

各地の

民衆が一日も早く實現せられんことを整役もが休學中にも指らず集し各學校もが休學中にも指らず |鐵嶺|| 鐵端線氏四十萬の 示威運動 所前で解説したが混道は渡十萬の 既実で身動さも出來の中に一々宣 既実で身動さも出來の中に一々宣

昌圖|掲圖附瀬地でカニ

本 11日島殿城内で駅民大會を開き 市民参加の下に避國歌ル唱和しな 市民参加の下に避國歌ル唱和しな がら親國促進上がの後殿質會を得ひた。

成進動は多加酸體三十線線人員三 職べ會主催の新國家建設促進大示。

十日は旅行党をなら速画版地連続るかを示してゐると教際體参加の下に大運動を建ら二一何に職民の類様が大き智能を利用し東、西歐粉智並に宗がる民衆の面には喜

一総打職に感情するさ共に偽造紙 ・ 一個紙幣は滞電製地方の臨時漂流通報 ・ 一回紙幣・子七百二十枚、その本 ・ 一回紙幣・子の本 ・ 一回紙幣・子枚であったがこの ・ 一回紙幣・子の本 ・ 一回紙 ・ 一回 ・ 一回紙 ・ 一回 ・ 一回 一回紙 一回紙 一回紙 戦院感激駆民大會が盛大に行はれたが同會に然ては決論女を作成すると同時に代表は忽天に致ったが、 撃内各所に貼られた覚覚とうに説 がる民衆の面には事性におふれか がる民衆の面には事性にあふれか がある、 がある、 がる民衆の面には事性にあるれか がる民衆の面には事性にあるれか 民大會を開催



五味國枝松林清三郎

演春水 麗子•松村

大河合春の大作●丘 虹二監督作品●●打ちました!寶館のクリーンヒツト!!

開公りよ日四廿 放開錢十二下階

### 行きに對して懷極の念な技蔵して機政暴飲の軍閥一掃以來今後の成 齊々哈爾で 全省大會 來る廿六日に は代表な選び二十八日を天大會へ で、五の所日は全省大會の準備を 行め二十六日には盛大なる全省大 では、二六日には盛大なる全省大 では、一六日には盛大なる全省大

と代表な選び二十八日を天大會へ を取の目解を以て代表は赴来の途 促進大會 洮南の建國

日武融を行ん行ふため松松庫より一

請負契約

富豊養榮 いしいお もてど 素とのーレカスイラ

鶴田吾郎氏

きのふ來連

世四日新

U

ハ日まる

.

辯明で更に紛糾

軍用トラックを絡り

有に店物乾及.店品料食 行業和京 市連大 店約将

双方頑張り合ひ軍ひ擴大

落し一部破壊

引き出して居る時突然地上就称立 郷土つた後緊落下部の安定盤を変 りまな離れて飛び出し一度空中に は避転を発れてクロン就調査委員

アクロン號墜

一號

の間に職質契約があつたか否か我保田眺のいふが如き軍部ご同人さ

二十二日午前十時より洗剤に於て 製画促動大會い催した先う級演劇 整宝、市民なご約二百名南 警察、舉生、市民なご約二百名南 下し一大デモル催し気勢を駆け引 正と意識な三県とて設會とた。 四 本 で表五名な彩天に派遣する事に決 で表五名な彩天に派遣する事に決 營口示威運動

野き大連競兵隊の手で取調中のさ

を日支那僧を慰悟の發企に係る新 関家促進運動は二十二日午前九時 は、 先つ駅公署前に なる。 

糖化せんさしてゐる

総総の上野東し大阪、東京阿地において今回の超行の収録にる保意の素描五百枚を以て第二回演響素

全商品破天荒。大投賣

未曾有の大處分お買物は是非此際に

支那紙幣の

偽造團

空巢狙ひ逮捕

以來市内各所で空果蘇門の被

生

論文と歌詞や募集

維新に寄與する

三大事業の一部

高川 號 配金 二十二日本 ・ 記念を注の近し

一五七サツボロカフエー吉野イ型子、同紀子▲五十副也山縣道

皆様ごうぞよろしく

貫

出

現

女氏は代表を整るてな天に於ける がは艦さなり駆威的に然て全駆 撃がは艦さなり駆威的に然て全駆 をがは艦さなり駆威的に然て全駆 をがは他されが二十三日駆長訓説 がは他されが二十三日駆長訓説

雄篇の應ぶを希望します。ないないないなります。奮つて及歌司募集の二件は左記の條件を以て公認いたします。奮つていた元旦の纸上に於て發表した吾社本年の三大事業の中、論文

論文募集《題意 十回、一回一行十五字請百五十行 人の希望

金 常選作五百圓、一回一行 回を呈します でを場合は、當 でを場合は、當 作作二百圓

本田海彦氏 大連郊外土地質社支建人本田海彦氏(五四)地質社支建人本田海彦氏(五四)は浜殿來鵬溢龍の爲の自宅で廃養中であつたが廿三日午前九時遂に死去した、幕儀は廿四日午後四時死去した、幕儀は廿四日午後四時

サービスガール入用

當準作者には三百圓、佳作者には百配察するの義務があります、若し視察

◇審査員及方法 追て發表します 歌 ◇題意

満蒙維新の 行進出式 七五調、六句、 五節

○貨金 一等二百圓、住作○性曲選者 中山晋平氏 西條八十氏 作五名各十圓紀

選作曲なき場合は中山氏に作曲を依私することになつて居ますには一等五十圓、二等三十圓、三等二十圓の賞金を呈する筈で當追て應慕歌詞當選の後には更めて右に對する作曲を募集しこれの締切期日 三月十五日

を祝繭するの歌

小川中野死去 『東京二十二十二十十三十数 海軍職務局長軍職 2 年 小川龍元五七氏に順遊血で二十二 作小川龍元五七氏に順遊血で二十二 作

條

北口の以時れ一時 各地氣温 **光氨络院** 幅 伴

賞品

本天公會学内 本天公會学内 本天公會学内 本大郎 時局寫真確にがき 時局寫真確にがき を表します。 本人職令會本部理事及其他 五日正午前高高崎にがき

ずの催行 经册册组 三十 ++ m R

候に付以紙上生前辱知諸君に謹告仕間住候に付以紙上生前辱知諸君に謹告仕 大田海彦議像で病氣の虚义、本田海彦議像で病氣の虚災、本田海彦議像で病氣の虚災を が、大田海彦議像で病氣の虚災、本田海彦議像で病氣の虚災、本田海彦議像で病気の虚災を 死去致候間此段生前辱知諸意 信 代 表 連 野內會

西洋家具店横二階入口山形屋市場前西通角山形屋 丸山豆次 看過友帝耶、兜山定五郎、安藤真太耶 朱木鶴太耶 我们一、高編义五郎、安藤真太耶 大山豆次 看過友帝耶、兜山定五郎、安藤真太耶

大應当朝行可住候」時より二時近の間に登日町於前三時永眠致候間此段謹告仕候前三時永眠致候間此段謹告仕候父池内謙一儀豫『病氣中、處本日午父池内謙一儀豫『病氣中、處本日午

大方宮 本 地内 ごう

全滿日本人聯合會本部

相妹(正生)

昭和七年一月

最先を信息トラッ 全滿專賣所=

グ専覧所 グ事選所

グ専費所

とまにさつくりと切り下げ、その で背に、すつくり立ち上つて、院 で背に、すつくり立ち上つて、院 で背に、すっくり立ち上つて、院 が既の輸へ・参覧の隣しないが の贅的な総は、苦痛に歪められ ・ 扇揺かられに染まつた左手が

まにざつくりさ切り下げ、その違ひすがつた後の敵な、後ろ

発の窓をであるから健事か新しい 発動と方は軽換を撃してぬるもの

人形のやうに捨

の成の間に置いた機能に、一本の明なと対されてゐた部屋の中の

盛くてゐるばかりである

るやったして

て、騙けながら、時々

のさ見られてある、また大阪にあってものが外がある大連に於けると、 現外の影後が影響が下されるものがいかの影後が影響が下されるものが、 また大阪にあっている。

い場力で観影器 ペルカー 内地から ぶつた

配工會例會二十四日午後六時半から職率町會所で開催、番組は編織、四、百萬、霊林院、番組は編織、四、百萬、霊林院、

「解へられてゐる的

し子の脱父である

「早く觀覧を見つける」

日

院で死去した、享年四十八、郷伽 然のホめニ十三日午前三時田 郷 派のホめニ十三日午前三時田 郷 派

に大運命に於て執行する、なほ

見えたが、同時に小手を伸ばも概之丞は前のめりに、触れるか か等なが、という。 一の六兵衛に、後から追び附いた乾 一の六兵衛に、上ばの六兵衛に解 小型りにざんくて、五六人の者が、お 小型りにざんくて、五六人の者が、お

一六兵衛は、脈られた柱手をだら

日本映畵界が

満蒙へ

進出

巨星惑星が相次いで

三月中に來滿の豫定

その行動は注目される

七日

|吳 服……の持越品と大見切品の全部を擧げて棚さらへ大處分||物價 高騰……されど田中屋の現金大量仕入は斷然これを抑へて……獨得の棚さらへ

**薔冬の底値より更に半値の堀出しものを澤山・・・・・・** 

日

20

待

5

兼

ね

0

田中屋多物

棚

とら

が

まる

りました

見るく 血飛沫を上げて、酸れる手貸、死人!凝之残の長魃は、 を手貸、死人!凝之残の長魃は、 「わッ」 六歩行くさ、がつくりと解をついら歩き出したが、層の編手に、五

京洛の春(十三)

くばつたり行き合つた。

(64)

彦、『日漂子』『マ を、『日漂子』『本学・正邦乙とた宮國キネマの現代劇の連中―とたからが原洋―、英羊子、正邦乙をからが原駒子と縦門光三郎を中心に獨立

南京虫、

のみ

八畜無害の

イマツ蠅取粉に限る

本館 今津化學研究所

富國キネマ俳優陣

もう四邊に、誰も居ないと見えて、深手を資ふた者の呻き覧が、 源之丞は闘を喰ひしばつ

社はかれて銀座野玉ピル内の創立

愈よ設立さる 富士發聲映畵 1 なに既にリルトン登歌機終機其他の機械は、交か愛してあり三月中の機械は、交か愛してあり三月中 の部のにはスタデオな完成するここの部のにはスタデオな完成することを表明らしいスピード振りな数

心。倉厚司

山本洋行

LUB



醫學博士 入院室開靜

(夕隆) 萬五六五六 話電

科醫院

B 日曜土日曜金日曜木

間日三りよ日五廿 (半時八前午店開)

子子毛メ

(均一型は 端もの シェイカン回れも優良品はかりですから供 解子、 空 気 枕、 り ポ ン、 や供 服、 ゾロース、服 地、 コール、 ロット・ス、 アンダー、 ワイシャツ、

ポートットン、地、アン、

圓

圓

圓

五圓

から お召用さして非常にお徳用でございます) 学生用靴下、防蟲袋、子供双工ター、子供靴下、牙供靴下、子供靴下、子供双工ター、子供靴下、

羽子オ靴 根供 1

團布し下

ガ安子サゼ全供ル

製肌マ 表刀太タ

蒲毛バ

10

超スピードねつとづつうる

連大

浪

トングク

な散

(賣出し準備の為二月二十四日夜間休業)

11

謝恩奉仕 圓 一おたの

金 巾召場 圓一 Ξ 五 圓五 み福箱發賣 高

圓

掘 出 値 服 下 富 0

三郎さ五 編技が、 証の道に入った道・師日蓮の 有盗の





一旦、油 も海原筋の機業充分 十八銭より中旬一圓五十三銭見當 十八銭より中旬一圓五十三銭見當 十八銭より中旬一圓五十三銭見當

本記したが本年一月に入りて以来 を得無観止の紹集による観覧記憶 のほか満州事題帶安定した関係で のほか満州事題帶安定した関係で のほか満州事題帶安定した関係で のほか満州事題の経典による観覧記憶 を輸出人さし機然形象つき一月

直山北共園間、他の南州島

朝鮮産苹果

び書館を頼田する。そもてロンド ・ 大間屋では装泉具、塊炭、搾炭、

3.0297

325.658.7

7.010.0

2,040.8

42.557.0

6.981.4

4.223.2

1.604.8

1.071.0

2084

258.9

876.3

2.581.3

8,501.9

1.062,9

98,261.2

1.000.0

260.1

2.437.0

1,619,9

567.3

5.265.5

縠

粕

粕骨油

子

韓

塞豆

麥燒

275.676.5

9.828.7

1,498,9

16.824.6

4.258.4

1.080.9 2.064.7

1.641.2

52.2

184.0

CC6.0

4.569.1

9,322.0

2,358.2

3,503.4

571.8

240.9

3,293.9

9.841.8

1.048.0

1.124.4

製品「鐵道車輛、

磁鐵

D

座

元 く金圓下落大洋騰貴さなりたるも 「一月四日哈大草は五三圓三〇錢見 は一月四日哈大草は五三圓三〇錢見 は一月四日哈大草は五三圓三〇錢見 である 一月四日哈大草は五三圓三〇錢見 である 一月四日哈大草は五三圓三〇錢見 である 一年四日哈大草は五三圓三〇錢見 である

朝鮮の對滿貿易

俄然活況を呈す

豆粕 は月焼め日本市場氣

小賣 界は機野だも甚だし

騰 下旬央五二銭見當さ

獨心膨脹政策に

銀行救濟に關する

, 0

唯合高 (世二日)

緊急分にヒ大統領署名

大型に 一月未現在北瀬大豆 見たるのみだつた 一月未現在北瀬大豆 と 一月未現在北瀬大豆

日

世衆能感況を楽し一様の生象を投 は反つて之が遺版を綴り北高金融 は反つて之が遺版を綴り北高金融 は反つて之が遺版を綴り北高金融 が概ま地補大豆、豆粕取引のみは

哈市金融界

1 音三千七百三十三國、談百十八萬 ・ 二百九十七名、日敷四萬二千九百 ・ 二百九十七名、日敷四萬二千九百 ・ 一一名減、上敷五十六日塚、百二 十一口減、差別六十五日の減少さ ・ 本り共氣が部はは用百十一萬八千 四百四十三國三十二級、撤保欽六 四百四十三國三十二國、談百十八萬

回収高は信用百十六萬九千百四十二千百七十六圓三十二錢に對し、

前月と斑波無く金融界は年頭居蘇五十萬内外にឈ滅し同業者預金は一百 

北浦の需要期待

総織さなりて機の無路に經過した 滿鐵貯炭激增

が高洲産であったが昨冬織肉郷三千七百四十七箱を試みに輸送

昨年の

田 保合つたので▲當市 新り、諸品さも一響に一服商 新り、諸品さも一響に一服商 大は一段を選んだ本一時多少 近は一段を選んだ本一時多少 近は一段を選んだ本一時多少 では一段を選んだ本一時の地で は滞貨多く、それに確安の値で は滞貨多く、それに確安の値で における滞貨も多いさいふ風 だから本いづれにせよ相場は だから本いづれにせよ相場は だから本いがらう。 一段を選んだ本一方大連 大したこさなからう のののででは、 一方大連 大したこさなからう。 一方大連 一方大連 一方大連 一方大連

弱保合

六十一圓三十錢 三十二國七十錢

大連埠頭到着高

各地特產發送高 大豆 一車 電報 四平街 東京 一車 高粱 二車 京黎 一車 電報 二車 京黎 一車 高粱 二車 京黎 一車 電報 二車 京黎 二車 東和 二車 東京 二車 東京 四〇車

大阪商船株式大連支店大阪商船株式大連支店 大阪商船株式大連支店 電影門電視所(天連山縣運) 國際運輸株式大連支店 電話四二三七番 電影四二三七番 **■日**清汽船 並出 帆

| である | で

株式會社

国阿波共同

松浦汽船大連出帆

四商

满洲見本市 力を注ぎたい 内地出品者側と打合せに 7 は

を | 全部では、全部では、全部では、全部では、大連が十六ケ所の輸入組合駅合

大連外十六ヶ所 輸組の業績 聯合會調

産及び 滿洲産に 勝り根 び滿洲産に勝り相場と二十段何する智であるが配置に内地ので記く二萬五千種 銀塊及爲替倫敦銀塊 2件末才三個育銀塊 20世末才三個有銀塊 10片0分の

オブペンゴール ラチル

三明二分 三明二分

野和六年度秋繁振城に防き大連民 野和六年度秋繁振城五十三枚、東 武十五戸、構立校城五十三枚、東 武十五戸、構立校城五十三枚、東 武十五戸、構立校城五十三枚、東 大風八十段、一貫双六十四段)中 満洲霧線會社襲日文三元交響職は 百八十個六十七段にして、雲職は 百八十個六十七段にして、雲職は 百八十個六十七段にして、雲職は 一百八十個六十七段にして、雲職は 一百八十個六十七段にして、雲職は 一百八十個六十七段にして、雲職は 一百八十個六十七段にして、雲職は 一百八十個六十七段にして、雲職は 一百八十個六十七段にして、雲職は 一百八十四段) 計画 一百八十四日 一百八十四日 一百八十四日 一百八十四日 一百八十四日 一百八十四日 一百八十四日 一百八十四日 一百八十四日 一十二日 一十二 一十二日 一十二日 一十二日 一十二日 一十二日 一十二 一十二日 一十二日 一十二日 一十二日 一十二日 一十二日 一十二日 一十二

豆男人分名

况(計三)

令定期前場〈單位ஜð〉

六八三三四四 六八五五六八限

七六五四三二

新、鐘紡、鐘新四十銭安、東京町 新、鐘紡、鐘新四十銭安、東京町 脚の東新は、一個一個一三十銭安 七十銭安 期の流は一個二三十銭安 七十銭安 別の流は一個二三十銭安 で、東新は一個九十銭安に引けた

美 [1][[基]]]]

Od.

大河伊朝町家內町

大阪期米 前場寄前級引 三二、三三三 限 三三、三三三 限 三三、三三三

大阪棉花

内地ポンヤ

手形交換高(十三日) 企 100個权 5(1115年) 配 100個权 5(1115年)

地場株低落

最も一服商駅にて一般般に鈍重

聊

高(廿二百)

三羊商行へ

物実期定式株债公

7

作原氏伸川谷長

武主郎五榮上尾

渡 手 額受額形計

綿 糸 糸 一二、六○○枚 五、○五○枚 五、○五○枚 五、○二五回数 一五、○二五回数 K

八十車 八十車

- 車 ・ 高五千枚 ・ 一四一〇 ・ 一四一〇

入れたが地跡は先物に買氣强く六分の一高為替一留比高さ保合高なり、産地情報は緩筋同事育筋

月限 二大五二〇 月限 二大四二六六 二萬四千枚

上海為替情報

博多屋本店質部 博多屋本店質部 勉

中央館

鐵骨家屋豆油容器、缓爐類本 店 大連市沙河口臺山町本 店 大連市沙河口臺山町 平和な留て恵人な對手さして! 上次 映週 映樂館 記特作品社 海

廖 000000 好しさ名廿 三三重奏・・・・のという

渝 國 一世四日限り RR

白 高廣津瀨 V

・谷崎十郎・マキノ智子志 銭 校開

迄上映 ー日公開●

廿組五を

日揃

電話四二六四・五八八八 電影響等備 九 二 商 會

安目 | 竹、錦鐵管、錦獅、鶴鐵並真錦鑄物、

酸素瓦斯

**建大連機械製作**